三菱電機(株) MIT\_QMC\_JA\_37 4/2024

# Q/QnA シリアル コミュニケーションドライバ

1	システム構成	
2	接続機器の選択	13
3	通信設定例	14
4	設定項目	53
5	結線図	62
6	使用可能なデバイスアドレス範囲	
7	デバイスコードとアドレスコード	
8	エラーメッセージ	118

## はじめに

本書は表示器と接続機器(対象 PLC)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



# 1 システム構成

表示器と三菱電機(株)製接続機器を接続する場合のシステム構成を示します。

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	通信設定例	結線図
	Q02CPU Q02HCPU Q06HCPU Q12HCPU Q25HCPU Q00JCPU Q00CPU Q00CPU Q01CPU O02UCPU	QJ71C24 QJ71C24-R2 QJ71C24N QJ71C24N-R2	RS232C	設定例 3 (20 ページ)	結線図 1 (62 ページ)
		QJ71C24	RS422/485 (4 線式)	設定例 4 (23 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
	Q03UDCPU Q04UDHCPU Q06UDHCPU	QJ71C24N QJ71C24N-R4	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 6 (29 ページ)	結線図 6 (81 ページ)
	Q00UJCPU Q00UCPU Q01UCPU Q10UDHCPU Q13UDHCPU Q20UDHCPU Q26UDHCPU	QJ71C24N QJ71C24N-R2	RS232C	設定例 3 (20 ページ)	結線図 1 (62 ページ)
		QJ71C24N QJ71C24N-R4	RS422/485 (4 線式 )	設定例 4 (23 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
MELSEC Q			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 6 (29 ページ)	結線図 6 (81 ページ)
	Q03UDECPU Q04UDEHCPU Q06UDEHCPU Q10UDEHCPU Q13UDEHCPU Q20UDEHCPU Q26UDEHCPU Q03UDVCPU Q04UDVCPU Q06UDVCPU Q13UDVCPU Q26UDVCPU	QJ71C24N <sup>*1</sup> QJ71C24N-R2 <sup>*1</sup>	RS232C	設定例 3 (20 ページ)	結線図 1 (62 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 4 (23 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
		QJ71C24N <sup>*1</sup> QJ71C24N-R4 <sup>*1</sup>	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 6 (29 ページ)	結線図 6 (81 ページ)
	Q00CPU Q01CPU Q00UJCPU Q00UCPU Q01UCPU Q02UCPU $^{*2}$	CPU 上の RS232C コ ネクタ	RS232C	設定例 5 (26 ページ)	結線図 3 (72 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	通信設定例	結線図
	Q2ASCPU	A1SJ71QC24 A1SJ71QC24N A1SJ71QC24-R2 A1SJ71QC24-R2	RS232C	設定例 1 (14 ページ)	結線図 1 (62 ページ)
MELSEC QnA	Q2ASCPU-S1 Q2ASHCPU Q2ASHCPU-S1	A181710C24	RS422/485 (4 線式 )	設定例 2 (17 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
		A1SJ71QC24 A1SJ71QC24N	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 7 (32 ページ)	結線図 6 (81 ページ)
		AJ71QC24 AJ71QC24N AJ71QC24-R2 AJ71QC24N-R2	RS232C	設定例 1 (14 ページ)	結線図 4 (73 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 2 (17 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
MELSEC	Q2ACPU Q2ACPU-S1	AJ71QC24 AJ71QC24N	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 7 (32 ページ)	結線図 6 (81 ページ)
QnA	Q3ACPU Q4ACPU Q4ARCPU	AJ71QC24-R4 AJ71QC24N-R4	RS422/485 (4 線式) (CH1 使用時)	設定例 2 (17 ページ)	結線図 5 (75 ページ)
			RS422/485 (4 線式) (CH2 使用時)	設定例 2 (17 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
			RS422/485 (4 線式) (CH2 使用時) マルチリンク	設定例 7 (32 ページ)	結線図 6 (81 ページ)
		LJ71C24 LJ71C24-R2	RS232C	設定例 3 (20 ページ)	結線図 1 (62 ページ)
MELSEC L	L02CPU L26CPU-BT	LJ71C24	RS422/485 (4 線式) (CH2 使用時)	設定例 4 (23 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
			RS422/485 (4 線式) (CH2 使用時) マルチリンク	設定例 6 (29 ページ)	結線図 6 (81 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	通信設定例	結線図
	R00CPU R01CPU R02CPU R04CPU R08CPU R16CPU	RJ71C24 RJ71C24-R2	RS232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 1 (62 ページ)
MELSEC	R32CPU R120CPU R04ENCPU R08ENCPU R16ENCPU R32ENCPU	RJ71C24 RJ71C24-R4	RS422/485 (4 線式 )	設定例 9 (38 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
iQ-R	R08PCPU R16PCPU R32PCPU R120PCPU R08SFCPU R16SFCPU		RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 9 (38 ページ)	結線図 6 (81 ページ)
	R32SFCPU R120SFCPU R08PSFCPU R16PSFCPU R32PSFCPU R120PSFCPU		RS422/485 (2 線式 )	設定例 12 (47 ページ)	結線図 8 (91 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	通信設定例	結線図
		FX5-232-BD FX5-232ADP	RS232C	設定例 10 (41 ページ)	結線図 7 (89 ページ)
	FX5UCPU CPU コネク FX5-4 FX5-4		RS422/485 (4 線式 )	設定例 11 (44 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
		CPU上のRS422/485 コネクタ FX5-485-BD FX5-485ADP	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 11 (44 ページ)	<ul> <li>結線図 2 (64ページ)</li> <li>結線図 6 (81ページ)</li> <li>結線図 8 (91ページ)</li> <li>結線図 7 (89ページ)</li> <li>結線図 2 (64ページ)</li> <li>結線図 6 (81ページ)</li> <li>結線図 8</li> </ul>
			RS422/485 (2 線式 )	設定例 13 (50 ページ)	結線図 8 (91 ページ)
	FX5UCCPU FX5UJCPU	FX5-232ADP	RS232C	設定例 10 (41 ページ)	結線図 7 (89 ページ)
MELSEC iQ-F		CPU 上の RS422/485 コネクタ FX5-485ADP	RS422/485 (4 線式 )	設定例 11 (44 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 11 (44 ページ)	結線図 6 (81 ページ)
			RS422/485 (2 線式 )	設定例 13 (50 ページ)	結線図 8 (91 ページ)
		FX5-232-BD FX5-232ADP	RS232C	設定例 10 (41 ページ)	結線図 7 (89 ページ)
			RS422/485 (4 線式 )	設定例 11 (44 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
		FX5-485ADP	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 11 (44 ページ)	結線図 6 (81 ページ)

\*1 シリアル No. の上 5 桁が "10042" 未満のユニットは QnUDECPU/QnUDEHCPU と接続できません。

\*2 シリアル No. の上 5 桁が "10102" 以降のユニットでバージョンが 8.76E 以降の GX Developer を使用 する場合にサポートします。

# ■ 接続構成

1:1 接続



• 1:n 接続

最大接続台数16台



• 1:n 接続(ネットワークを経由する場合)

MELSECNET/H、MELSECNET/10、Ethernet、Q シリーズ C24 ユニットを経由した他局へのアクセス が可能です。ただし、Q00CPU、Q01CPU上のRS232Cコネクタを使用する場合は、自局へのアクセ スのみ可能です。



• iQ-F シリーズはネットワークを経由する接続に対応していません。

ネットワークを経由する場合の設定例を以下に示します。設定項目の詳細は「設定項目」で確認 してください。

🧊 「4 設定項目」(53 ページ)



[個別機器設定]ダイアログボックス

アクセス先の 接続機器	局番号 <sup>*1</sup>	ネットワーク 番号	PC 番号	要求先ユニッ トの I/O 番号	要求先ユニッ トの局番号
PLC1	5	0	255	1023	0
PLC2	5	1	6	1023	0
PLC3	5	2	8	32	15

\*1 中継局 (PLC1) の局番号を設定します。

• n:1 接続 (マルチリンク接続)



最大接続数は16台ですが、接続する表示器を増やすと応答が遅くなるため、4台までの接続を推奨します。

• n:m 接続(マルチリンク接続)

MEMO



MEMO ・最大接続数は16台ですが、接続する表示器を増やすと応答が遅くなるため、4台ま での接続を推奨します。

# ■ IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

\$ . II 7 <sup>°</sup>	使用可能ポート					
	RS-232C	RS-422/485(4 線式 )	RS-422/485(2 線式 )			
PS-2000B	COM1 <sup>*1</sup> 、COM2、 COM3 <sup>*1</sup> 、COM4	-	-			
PS-3450A、PS-3451A、 PS3000-BA、PS3001-BD	COM1、COM2 <sup>*1*2</sup>	COM2 <sup>*1*2</sup>	COM2 <sup>*1*2</sup>			
PS-3650A(T41 機種 )、 PS-3651A(T41 機種 )	COM1 <sup>*1</sup>	-	-			
PS-3650A(T42 機種 )、 PS-3651A(T42 機種 )	COM1 <sup>*1*2</sup> , COM2	COM1 <sup>*1*2</sup>	COM1 <sup>*1*2</sup>			
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 <sup>*1</sup> , COM2 <sup>*1</sup> , COM3 <sup>*2</sup> , COM4	COM3 <sup>*2</sup>	COM3 <sup>*2</sup>			
PS-3711A	COM1 <sup>*1</sup> 、COM2 <sup>*2</sup>	COM2 <sup>*2</sup>	COM2 <sup>*2</sup>			
PS4000 <sup>*3</sup>	COM1、COM2	-	-			
PL3000	COM1 <sup>*1*2</sup> , COM2 <sup>*1</sup> , COM3, COM4	COM1*1*2	COM1*1*2			
PE-4000B Atom N270	COM1, COM2	-	-			
PE-4000B Atom N2600	PE-4000B Atom N2600 COM1, COM2		COM3 <sup>*4</sup> , COM4 <sup>*4</sup> , COM5 <sup>*4</sup> , COM6 <sup>*4</sup>			
PS5000 ( スリムパネルタ イプ Core i3 モデル ) <sup>*5 *6</sup>	COM1、COM2 <sup>*4</sup>	COM2 <sup>*4</sup>	COM2 <sup>*4</sup>			
PS5000(スリムパネルタ イプ Atom モデル) <sup>*5 *6</sup>	COM1、COM2 <sup>*7</sup>	COM2 <sup>*7</sup>	COM2 <sup>*7</sup>			
PS5000(耐環境パネルタ イプ) <sup>*8</sup>	COM1	-	-			
PS5000 (モジュラータイ プ PFXPU/PFXPP) <sup>*5 *6</sup> PS5000 (モジュラータイ プ PFXPL2B5-6)	COM1 <sup>*7</sup>	COM1 <sup>*7</sup>	COM1 <sup>*7</sup>			
PS5000 ( モジュラータイ プ PFXPL2B1-4)	COM1、COM2 <sup>*7</sup>	COM2 <sup>*7</sup>	COM2 <sup>*7</sup>			
PS6000(アドバンスド ボックス) PS6000(スタンダード ボックス) COM1*9		*10	*10			
PS6000(ベーシックボッ クス)	COM1 <sup>*9</sup>	COM1 <sup>*9</sup>	COM1 <sup>*9</sup>			

\*1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

\*2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、以下のように設定してください。

- \*3 拡張スロットに搭載した COM ポートと接続機器を通信させる場合、通信方式は RS-232C のみ サポートします。ただし、COM ポートの仕様上、ER(DTR/CTS) 制御はできません。 接続機器との接続には自作ケーブルを使用し、ピン番号 1、4、6、9 には何も接続しないでくだ さい。ピン配列は IPC のマニュアルを参照してください。
- \*4 通信方式を BIOS で設定する必要があります。BIOS の詳細は IPC のマニュアルを参照してくだ さい。
- \*5 RS-232C/422/485 インターフェイスモジュールと接続機器を通信させる場合、IPC(RS-232C) または PS5000(RS-422/485)の結線図を使用してください。ただし PFXZPBMPR42P2 をフロー制御なしの RS-422/485(4 線式)として使用する場合は 7.RTS+ と 8.CTS+、6.RTS- と 9.CTS- を接続してください。 接続機器との接続で RS-422/485 通信を使用するときには通信速度を落として送信ウェイトを増やすことが必要な場合があります。
- \*6 RS-232C/422/485 インターフェイスモジュールで RS-422/485 通信を使用するにはディップス イッチの設定が必要です。サポート専用サイトの「よくある質問」(FAQ)を参照してください。 (http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html)

項目	FAQ ID
PFXZPBMPR42P2のRS422/485切り替え方法	FA263858
PFXZPBMPR42P2の終端抵抗設定	FA263974
PFXZPBMPR44P2のRS422/485切り替え方法	FA264087
PFXZPBMPR44P2の終端抵抗設定	FA264088

- \*7 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。ディップスイッチの詳細は IPC のマ ニュアルを参照してください。 ボックス Atom には RS-232C、RS-422/485 モードを設定するスイッチがありません。通信方式 は BIOS で設定してください。
- \*8 接続機器との接続には自作ケーブルを使用し、表示器側のコネクタを M12 A コード8 ピン(ソ ケット)に読み替えてください。ピン配列は結線図に記載している内容と同じです。M12 A コー ドのコネクタには PFXZPSCNM122 を使用してください。
- \*9 本体上の COM1 以外に、オプションインターフェイス上の COM ポートを使用することもできます。
- \*10 拡張スロットにオプションインターフェイスを取り付ける必要があります。

#### ディップスイッチの設定 (PL3000/PS3000 シリーズ)

RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF <sup>*1</sup>	予約(常時 OFF)	
2	OFF	通信士士 . DS 2220	
3	OFF	- 通信方式:RS-232C	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA)と RDA(RXA)の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)と RDB(RXB)の短絡:しない	

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
9	OFF	DC(DTC) 白動判御エー ド・毎劫	
10	OFF	RS(RTS) 目動制御モード:無効	

\*1 PS-3450A、PS-3451A、PS3000-BA、PS3001-BD を使用する場合のみ設定値を ON にする 必要があります。

#### RS-422/485(4 線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	X = + + DC 400/405	
3	ON	地向万式、KS-422/405	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA)と RDA(RXA)の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)と RDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	- RS(RTS) 自動制御モード : 無効	
10	OFF		

RS-422/485(2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	· 通信卡式 · BS /22//85	
3	ON	通信万式, KS-422/485	
4	OFF	<b>SD(TXD)</b> の出力モード : 常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω) : なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	ON	SDA(TXA)と RDA(RXA)の短絡:する	
8	ON	SDB(TXB)と RDB(RXB)の短絡:する	
9	ON	<b>DC(DTC)</b> 白動判御エード・方効	
10	ON	- KS(K1S) 日期前御モート: 有刻	

# 2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

🏄 ようこそ GP-Pro EX ヘ		×
GP-Pro 🛃	- 接続機器設定 接続機器数 11 <u>→</u> <u>→</u>	
	接続機器1 メーカー 三莽雷機(株)	
	シリーズ Q/QnA シリアルコミュニケーション ポート COM1	▼ ▼
	した。ためは他のマニュアルを見る。	
	▶ システムエリアを使用する	<u> 機器接続マニュアルへ</u>
	戻る (B) 通信設定 ロジック画面作	成 ベース画面作成 キャンセル

設定項目	設定内容
接続機器数	設定するシリーズ数を「1~4」で入力します。
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「三菱電機(株)」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「Q/QnA シリア ルコミュニケーション」を選択します。 「Q/QnA シリアルコミュニケーション」で接続できる接続機器はシステム構成で 確認してください。
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。
	表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス(メモリ)を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の 表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。
システムエリアを使用	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方 式専用エリア)」
<i>দ</i> ক	この設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードでも設定できます。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「本体設定(システムエリア設定) の設定ガイド」
	参照 : 保守 / トラブル解決ガイド「本体設定 - システムエリア設定」

# 3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

## 3.1 設定例 1

## ■ GP-Pro EX の設定

#### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

概要				接続機器変
メーカー 三菱電精	態(株)	シリーズ 🛛	I/QnA シリアルコミュニケーション	ポート COM1
文字列データモー	ド 2 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	RS232C	C RS422/485(2	線式) (C RS422/485(4線式)	
通信速度	19200	-		
データ長	C 7	• 8		
パリティ	○ なし	○ 偶数	● 奇数	
ストップビット	€ 1	C 2		
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	3) O XON/XOFF	
タイムアウト	3	(sec)		
リトライ	2 🗄	1		
送信ウェイト	0 :	(ms)		
形式	QnA互換4C	7レーム: 形式5	•	
RI / VCC	🖲 RI	C VCC		
RS232Cの場合	、9番ピンをRI(入力	)にするか VCC(5V電源	夏供給)	
トを使用する場	clauge。J シタル製 合は、VCCを選択し	に32320アイシレーショ にください。	シューッ 初期設定	1
機器別設定				_
接続可能台数	16台 機	<u>器を追加</u>		
Na 邦理-ク	設守			間接機器
	iRAE 	ズ=0/0nAシリーズ 局	番号=0マルギCPIドルステム	
		A warning Apo	a	1 <b>1</b>

МЕМО

 A1SJ71QC24N、A1SJ71QC24N-R2、AJ71QC24N、AJ71QC24N-R2を使用する場合、 「通信速度」は115200まで設定可能です。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

爰 個別機器設定 ×	<i> </i> 個別機器設定	×
PLC1	PLC1	
<ul> <li>基本設定 他局アクセス</li> <li>シリーズ Q/QnAシリーズ ✓</li> <li>局番号 0 ◆</li> <li>マルチCPUシステム</li> <li>CPU台数 1 ◆</li> <li>QシリーズC24装着局に接続</li> <li>3Cフレーム形式4オブション</li> <li>XY 8進 ● XY 16i進数</li> <li>ビット指定したワードアドレスへのビット持作</li> <li>ワートや肉のその他のビットテータ ● クリアする</li> <li>クリアしない」を選択した場合の注意。表示</li> <li>器が接続機器のワードのデータを読出しば続機構器のワードのデータを読出しば続機構器のワードのデータを読出しば続機構器のワードのデータを読出しば続機構器のマードのデータを読出しば続けて、の値をラダーブログラムで変更すると、正しい データが書込まれない場合があります。</li> </ul>	基本設定 他局アクセス ネットワーク番号 0 全 PC番号 255 全 要求先ユニット I/O番号 1023 全 局番号 0 全	
<ul><li>約期設定</li><li>OK(O) キャンセル</li></ul>	OK(0)	初期設定 キャンセル

#### ◆ 重要事項

A1SJ71QC24N、A1SJ71QC24N-R2、AJ71QC24N、AJ71QC24N-R2 で2つのインターフェースを使用する場合は、CH1,CH2の通信速度の合計が115200以内になるよう設定してください。

通信設定は、計算機リンクユニット前面のスイッチを使用して以下の設定を行います。

ディップ スイッチ	設定	設定内容
SW1	OFF	動作設定=独立動作
SW2	ON	データ長=8ビット
SW3	ON	パリティの有無=有
SW4	OFF	パリティ=奇数パリティ
SW5	OFF	ストップビット=1 ビット
SW6	ON	サムチェック=有
SW7	ON	RUN 中書き込み=可
SW8	ON	設定変更可・不可=可
SW9	OFF	
SW10	ON	仁学演奏 10200
SW11	ON	広达述度= 19200
SW12	OFF	

MEMO

 A1SJ71QC24N、A1SJ71QC24N-R2、AJ71QC24N、AJ71QC24N-R2を使用する場合、 「通信速度」は115200まで設定可能です。

• 局番設定スイッチ

設定スイッチ	設定
×10	0
×1	0

• モード設定スイッチ

設定スイッチ	設定
MODE (CH1)	5 <sup>*1</sup>
MODE (CH2)	5 <sup>*1</sup>

\*1 使用する[形式]にあわせて設定してください。

#### ◆ 重要事項

A1SJ71QC24N、A1SJ71QC24N-R2、AJ71QC24N、AJ71QC24N-R2 で2つのインターフェースを使用する場合は、CH1,CH2の通信速度の合計が115200以内になるよう設定してください。

# 3.2 設定例 2

# ■ GP-Pro EX の設定

## ♦ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		接結機器亦重
メーカー 三菱電根	(株) シリーズ Q/QnA シリアルコミュニケーション	#
文字列データモー	* 2 変更	,
通信設定		
通信方式	○ RS232C ○ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式)	
通信速度	19200	
データ長	07 08	
パリティ	○ なし ○ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット		
フロー制御	○なし ● ER(DTR/CTS) ○ XON/XOFF	
タイムアウト	3 :: (sec)	
リトライ	2	
送信ウェイト	0 :: (ms)	
形式	QnA互換4Cフレーム:形式5	
RI / VCC	C RI C VCC	
RS232Cの場合、	9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
トを使用する場合	さより。テンダル設わる2020アイクレーションユニッ さは、VOCを選択してください。	
機器別設定		
接続可能台数	16台 <u>機器を追加</u>	
		間接機器
No 機器名		追加
M PLOT	UIII レッテス=Q/QNAソリテス、向番ち=U,マルナGPUソステム	17 A

MEMO • A1SJ71QC24N、AJ71QC24N、AJ71QC24N-R4を使用する場合、「通信速度」は 115200まで設定可能です。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🎒 個別機器設定 💦 💦 🔪	く 🎻 個別機器設定	×
PLC1	PLC1	
基本設定       他局アクセス         シリーズ       Q/QnAシリーズ         局番号       0         マルチCPUシステム       CPU台数         マルチCPUシステム       1         グロシリーズ024装着局に接続       3C7レーム形式4オプション         スY 8進       XY 16進数         ビット指定したワードアドレスへのビット抹作       ワートやかのその他のビットテータ         クリアしない」を選択した場合の注意、表示       器が接続機器のワードのデータを読出し、接続         (株器へ書)となまでの間に、そのフードアドレスの値をすぎーブログラムで変更すると、正しい データが書込まれない場合があのます。       アータが書込まれない場合があります。	基本設定     他局アクセス       ネットワーク番号     0       PC番号     255       要求先ユニット     1023       レの番号     0	
<ul><li>初期服役定</li><li>OK(O) キャンセル</li></ul>	(の) (の) () () () () () () () () () (	期設定 ァンセル

#### ◆ 重要事項

A1SJ71QC24N、AJ71QC24N、AJ71QC24N-R4 で2つのインターフェースを使用する場合は、 CH1,CH2の通信速度の合計が115200以内になるよう設定してください。

通信設定は、計算機リンクユニット前面のスイッチを使用して以下の設定を行います。

ディップ スイッチ	設定	設定内容
SW1	OFF	動作設定=独立動作
SW2	ON	データ長=8ビット
SW3	ON	パリティの有無=有
SW4	OFF	パリティ=奇数パリティ
SW5	OFF	ストップビット=1ビット
SW6	ON	サムチェック=有
SW7	ON	RUN 中書き込み=可
SW8	ON	設定変更可・不可=可
SW9	OFF	
SW10	ON	仁兴注南- 10200
SW11	ON	伝达速度= 19200
SW12	OFF	

MEMO

• A1SJ71QC24N、AJ71QC24N、AJ71QC24N-R4 を使用する場合、「通信速度」は 115200 まで設定可能です。

局番設定スイッチ

設定スイッチ	設定
×10	0
×1	0

モード設定スイッチ

設定スイッチ	設定
MODE (CH1)	5 <sup>*1</sup>
MODE (CH2)	$5^{*1}$

\*1 使用する[形式]にあわせて設定してください。

#### ◆ 重要事項

A1SJ71QC24N、AJ71QC24N、AJ71QC24N-R4 で2つのインターフェースを使用する場合は、 CH1,CH2の通信速度の合計が115200以内になるよう設定してください。

# 3.3 設定例 3

# ■ GP-Pro EX の設定

## ♦ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 三菱電機(株) シリーズ Q/QnA シリアルコミュニケーション	ポート COM1
文字列データモード 2 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS282C                       通信方式	
通信速度 19200 🔽	
データ長 〇 7 ④ 8	
パリティ 🔿 なし 🔿 偶数 💿 奇数	
ストップピット	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> ሀ ት 5 ብ 🔁 🚍</u>	2
送信ウェイト 🛛 📩 (ms)	v
形式 QnA互換4Cフレーム:形式5 🔽	
RI / VCC © RI © VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかち避視のきます。デジカル制度5232Cアズリレーション・コニッ	
ドを使用する場合は、VCOを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 推興之 設守	間接機器
👔 1 PLC1 III シリーズ=Q/QnAシリーズ,局番号=0,マルチCPUシステム	<b>F</b>

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

靜 個別機器設定	★ 個別機器設定	×
PLC1	PLC1	
基本設定 他局アクセス     ジリーズ ④ Q (Q A 谷 ジリーズ ▼     局番号 ● ●     マルチ C PU ら ステム     C PU 合 数 ■ ●     Q ジリーズ C 24 装着局に接続     3C フレーム形式4 オブション     XY 8進 ● XY 16 進数     ビット指定したワードアドレスへのビット操作     ワートや内のその他のビットデータ ● クリアする     ● クリアしない     「クリアしない」を選択した場合の注意。表示     器が接続提着のフードのデータを読出しは続待     桜谷 表述とはずで個に、20 ワードアドレス     の値をラダーブログラムで変更すると、正しい     データが率込まれない。後の時れすま、	基本設定 他局アクセス ネットワーク番号 0 全 PC番号 255 € 要求先ユニット I/O番号 1023 全 局番号 0 全	
約期設定 OK(O) キャンセル	OK(O)	初期設定 キャンセル

#### ◆ 重要事項

QJ71C24、QJ71C24-R2 で2つのインターフェースを使用する場合は、CH1,CH2の通信速度の合計が 115200 以内になるように設定してください。

通信設定は、三菱電機㈱製 GPP 機能ソフトウェアより下記の手順で行います。

(1)「パラメータ」の中から、[PC パラメータ]をダブルクリックし、[I/O 割付設定タブ]を選択します。

(2) [種別]をクリックし、[インテリ]を選択します。

(3) [スイッチ設定]をクリックし、下記の設定を行います。

設定スイッチ	設定値	設定内容
スイッチ 1	07E6	伝送速度= 19200 データ長= 8 パリティの有無=有 パリティ=奇数パリティ ストップビット= 1 サムチェック=有
スイッチ2	$0005^{*1}$	モード=形式 5
スイッチ5	0000	局番=0

\*1 使用する[形式]にあわせて設定してください。

MEMO ・設定内容の詳細については、接続機器側のマニュアルを参照してください。

#### ◆ 重要事項

QJ71C24、QJ71C24-R2 で2つのインターフェースを使用する場合は、CH1,CH2の通信速度の合計が 115200 以内になるよう設定してください。

# 3.4 設定例 4

# ■ GP-Pro EX の設定

## ♦ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 三菱電機(株) シリーズ Q/QnA シリアルコミュニケーション	ポート COM1
文字列データモード 2 変更	
通信方式 ① RS232C ② RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線)	( <del>),</del>
通信速度 19200 マ	
デーな長 0.7 ④ 8	
パリティ 〇 なし、 〇 儒教   〇 奇数	
ストップドット ①1 ①2	
フロー制御 〇 なし 〇 ER(DTR/CTS) 〇 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
UN51 2 =	
,	
形式 QnA互換4Cフレーム:形式5 ▼	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。	
1株研が増えた 接続可能合数 16台 禅器を追加	
	間接機器
No 機器名 設定	追加
【 】 1  PLC1   」  シリーズ=Q/QnAシリーズ,局番号=0,マルチCPUシステム	<b>-</b>

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

●● 個別機器設定     ×     ×	💕 個別機器設定	×
PLC1	PLC1	
<ul> <li>基本設定 他局アクセス</li> <li>ジリーズ Q/QnAシリーズ ✓</li> <li>局番号 0 ♀</li> <li>マルチCPUシステム</li> <li>CPU台歌 1 ♀</li> <li>Qシリーズ024装着局に接続</li> <li>3Cフレーム形式4オプション</li> <li>XY 8進 ● XY 16進数</li> <li>ビット指定したワードアドレスへのビット操作</li> <li>ワード内のその他のビットテータ ● クリアする</li> <li>クリアしない</li> <li>アクリアしない」を選択した場合の注意。表示</li> <li>器が移続機器のワードのデータを読出し場続 機器なっているご変更すると、正しい データが書込まれない場合があります。</li> </ul>	基本設定       他局アクセス         ネットワーク番号       0         PC番号       255         要求先ユニット         I/O番号       1023         局番号       0	
初期設定 OK(O) キャンセル	OK(O)	初期設定 キャンセル

#### ◆ 重要事項

QJ71C24 で 2 つのインターフェースを使用する場合は、CH1,CH2 の通信速度の合計が 115200 以内に なるよう設定してください。

通信設定は、三菱電機㈱製 GPP 機能ソフトウェアより下記の手順で行います。

(1)「パラメータ」の中から、[PC パラメータ]をダブルクリックし、[I/O 割付設定タブ]を選択します。

(2) [種別]をクリックし、[インテリ]を選択します。

(3) [スイッチ設定]をクリックし、下記の設定を行います。

設定スイッチ	設定値	設定内容
スイッチ 3	07E6	伝送速度= 19200 データ長= 8 パリティの有無=有 パリティ=奇数パリティ ストップビット= 1 サムチェック=有
スイッチ4	$0005^{*1}$	モード=形式 5
スイッチ5	0000	局番=0

\*1 使用する[形式]にあわせて設定してください。

MEMO ・設定内容の詳細については、接続機器側のマニュアルを参照してください。

#### ◆ 重要事項

QJ71C24 で 2 つのインターフェースを使用する場合は、CH1,CH2 の通信速度の合計が 115200 以内に なるよう設定してください。

# 3.5 設定例 5

# ■ GP-Pro EX の設定

## ♦ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 三菱電機(株) シリ・	-ズ Q/QnA シリアルコミュニケーション ポート COM1
文字列データモード 2 変更	
通信設定	
通信方式 ⓒ RS232C 〇 RS422/	'485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)
通信速度 19200 💌	
データ長 〇 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 🔿 偶数	● 奇数
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTF	VOTS) C XON/XOFF
タイムアウト 3 🚊 (sec)	
リトライ 2 🛨	
送信ウェイト 🛛 🚊 (ms)	
形式 QnA互換4Cフレーム:形式5	×
RI/VCC © RI © VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC() にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソ	iV電源供給) ノーションユニッ
トを使用する場合は、VCCを選択してください。	初期設定
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 機器名 設定	間接機器 迫加
1 PLC1 シリーズ=Q/QnAシリ・	-ズ、局番号=0、マルチCPUシステム

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

●● 個別機器設定     ×     ×	<i> </i> 個別機器設定	×
PLC1	PLC1	
<ul> <li>基本設定 他局アクセス</li> <li>シリーズ Q/QnAシリーズ ✓</li> <li>局番号 0 ◆</li> <li>マルチCPUシステム</li> <li>CPU台数 1 ◆</li> <li>QシリーズC24装着局に接続</li> <li>3Cフレーム形式4オブション</li> <li>XY 8進 ● XY 16進数</li> <li>ビット指定したワードアドレスへのビット操作</li> <li>ワートや肉のそのビットデータ ● クリア する</li> <li>クリアしない」を選択した場合の注意。表示</li> <li>器が接続機器のワードのデータを読出し接続</li> <li>機器へ書込むまでの間に、そのワードアドレムへの値を方 一力のうしで変更すると、正しい データが書込まれない場合があります。</li> </ul>	基本設定       他局アクセス         ネットワーク番号       0         PC番号       255         要求先ユニット       1023         J/O番号       0         局番号       0	
初期設定 OK(O) キャンセル	OK(0)	初期設定 キャンセル

通信設定は、三菱電機㈱製 GPP 機能ソフトウェアより下記の手順で行います。

(1)「パラメータ」の中から、[PC パラメータ]をダブルクリックし、[シリアルコニュニケーション 設定]を選択します。

(2) 下記の設定を行います。

設定項目	設定
シリアルコミュニケーション機能を使用する <sup>*1</sup>	使用する
ボーレート	19.2Kbps
サムチェック	あり
伝送ウェイト時間	ウェイト無し
RUN 中書込み設定	許可する

\*1 チェックボックスにチェックを入れると他の設定項目も設定可能 になります。

# 3.6 設定例 6

# ■ GP-Pro EX の設定

## ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー  三菱電機(株)	シリーズ Q/QnA シリアルコミュニケーション	ポート COM1
文字列データモード 2 変更		
通信設定		
通信方式 C RS232C C	RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)	
通信速度 19200	•	
データ長 〇 7 💿	8	
パリティ 🔿 なし 🔿	偶数 • 奇数	
ストップビット 💿 1 📀	2	
フロー制御 🔿 なし 📀	ER(DTR/CTS) OXON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)		
UF57 2 🗄		
送信ウェイト 🛛 🕂 (ms)		
形式 QnA互換4Cフレーム:	形式5 💽	
RI/VCC © RI C	VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にする。 にするかを選択できます。デジルル制度5330	かVCC(5V電源供給)	
ドを使用する場合は、Vocを選択してくださ	い。 初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 16台 機器を追	<u>ha</u>	
No 機器名 静定		間接機器
1 PLC1	QnAシリーズ、局番号=0.マルチCPUシステム	

МЕМО

 マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[形式]で「QnA 互換 3C フレーム:形式4」を選択してください。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

●● 個別機器設定     ×     ×	💕 個別機器設定	×
PLC1	PLC1	
<ul> <li>基本設定 他局アクセス</li> <li>ジリーズ Q/QnAシリーズ ✓</li> <li>局番号 0 ♀</li> <li>マルチCPUシステム</li> <li>CPU台歌 1 ♀</li> <li>Qシリーズ024装着局に接続</li> <li>3Cフレーム形式4オプション</li> <li>XY 8進 ● XY 16進数</li> <li>ビット指定したワードアドレスへのビット操作</li> <li>ワード内のその他のビットテータ ● クリアする</li> <li>クリアしない</li> <li>アクリアしない」を選択した場合の注意。表示</li> <li>器が移続機器のワードのデータを読出し場続 機器なっているご変更すると、正しい データが書込まれない場合があります。</li> </ul>	基本設定       他局アクセス         ネットワーク番号       0         PC番号       255         要求先ユニット         I/O番号       1023         局番号       0	
初期設定 OK(O) キャンセル	OK(O)	初期設定 キャンセル

#### ◆ 重要事項

QJ71C24 で 2 つのインターフェースを使用する場合は、CH1,CH2 の通信速度の合計が 115200 以内に なるよう設定してください。

通信設定は、三菱電機㈱製 GPP 機能ソフトウェアより下記の手順で行います。

- (1) す「パラメータ」の中から、[PC パラメータ]をダブルクリックし、[I/O 割付設定タブ]を選択 します。
- (2) [種別]をクリックし、[インテリ]を選択します。
- (3) [スイッチ設定]をクリックし、下記の設定を行います。

設定スイッチ	設定値	設定内容
スイッチ 3	07E6	伝送速度= 19200 データ長= 8 パリティの有無=有 パリティ=奇数パリティ ストップビット= 1 サムチェック=有
スイッチ 4	$0005^{*1}$	モード=形式 5
スイッチ 5	0000	局番=0

\*1 使用する[形式]にあわせて設定してください。

MEMO ・設定内容の詳細については、接続機器側のマニュアルを参照してください。

#### ◆ 重要事項

QJ71C24 で 2 つのインターフェースを使用する場合は、CH1,CH2 の通信速度の合計が 115200 以内に なるよう設定してください。

# 3.7 設定例 7

## ■ GP-Pro EX の設定

#### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

メーカー 三菱電	 {(株) シリーズ Q/QnA シリアルゴ	ミュニケーション ポート COM1
文字列データモー	· 2 <u>変更</u>	,
通信設定		
通信方式	○ RS232C ○ RS422/485(2線式) ● RS	S422/485(4線式)
通信速度	19200	
データ長	C 7 C 8	
パリティ	○ なし ○ 偶数 ● 奇数	
ストップビット		
フロー制御	○なし ● ER(DTR/CTS) ○ XON/X	OFF
タイムアウト	3	
リトライ	2	
送信ウェイト	0 🔆 (ms)	
形式	QnA互換4Cフレーム:形式5 🔹	
RI / VCC	O RI O VCC	
RS232Cの場合	9番ピンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給)	
にするかを選択 トを使用する場	きます。テンダル製RS232Cアイソレーションユニッ らは、VCCを選択してください。	初期設定
#		
接続可能台数	16台 <u>機器を追加</u>	
		間接機器
No 機器名	設定	追加

MEMO

• A1SJ71QC24N、AJ71QC24N、AJ71QC24N-R4 を使用する場合、「通信速度」は 115200 まで設定可能です。

 マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[形式]で「QnA 互換 3C フレーム:形式4」を選択してください。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

爰 個別機器設定 ×	<i> </i> 個別機器設定	×
PLC1	PLC1	
<ul> <li>基本設定 他局アクセス</li> <li>シリーズ Q/QnAシリーズ ✓</li> <li>局番号 0 €</li> <li>マルチCPUシステム</li> <li>CPU合数 1 €</li> <li>O シリーズC24装着局に接続</li> <li>3C7レーム形式4オブション</li> <li>XY 8進 ● XY 16道数</li> <li>ビット指定したワードアドレスへのビット操作</li> <li>ワード内のその他のビットデータ ● クリアする</li> <li>○ クリアしない</li> <li>Гクリアしない」を選択した場合の注意。表示</li> <li>器が接続機器のワードのデータを読出しば続続 機器へ書込むまでの間に、そのワードアドレス の値をラダーブログラムで変更すると、正しい データが書込まれない場合があります。</li> </ul>	基本設定       他局アクセス         ネットワーク番号       0         PC番号       255         要求先ユニット       1023         J/O番号       1023         局番号       0	
初期設定 OK(0) キャンセル	Х. ОК(О) *	ル期設定 テマンセル

#### ◆ 重要事項

A1SJ71QC24N、AJ71QC24N、AJ71QC24N-R4 で2つのインターフェースを使用する場合は、 CH1,CH2の通信速度の合計が115200以内になるよう設定してください。

通信設定は、計算機リンクユニット前面のスイッチを使用して以下の設定を行います。

ディップ スイッチ	設定	設定内容
SW1	OFF	動作設定=独立動作
SW2	ON	データ長=8ビット
SW3	ON	パリティの有無=有
SW4	OFF	パリティ=奇数パリティ
SW5	OFF	ストップビット=1ビット
SW6	ON	サムチェック=有
SW7	ON	RUN 中書き込み=可
SW8	ON	設定変更可・不可=可
SW9	OFF	
SW10	ON	仁学演奏 10200
SW11	ON	広达述度= 19200
SW12	OFF	

MEMO

• A1SJ71QC24N、AJ71QC24N、AJ71QC24N-R4 を使用する場合、「通信速度」は 115200 まで設定可能です。

局番設定スイッチ

設定スイッチ	設定
×10	0
×1	0

モード設定スイッチ

設定スイッチ	設定
MODE (CH1)	5 <sup>*1</sup>
MODE (CH2)	$5^{*1}$

\*1 使用する[形式]にあわせて設定してください。

#### ◆ 重要事項

A1SJ71QC24N、AJ71QC24N、AJ71QC24N-R4 で2つのインターフェースを使用する場合は、 CH1,CH2の通信速度の合計が115200以内になるよう設定してください。

# 3.8 設定例 8

# ■ GP-Pro EX の設定

## ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

横要	接続機器1		
文字列データモード     2 変更       通信方式     ・ RS2820 ( RS422/485(2線式) ( RS422/485(4線式)))       通信速度     19200 ( )       データ長     ・ 7 ( )       データ長     ・ 7 ( )       パリティ     ・ なし ( )       ( )     ・ 6       パリティ     ・ なし ( )       ( )     ・ 6       ( )     ・ 7       ( )     ・ 7       ( )     ・ 7       ( )     ・ 7       ( )     ・ 6       ( )     ・ 7 <t< td=""><td>概要</td><td>#) ・パーズ [0/0p4 ミルマルコミュニケーミュン</td><td><u>接続機器変更</u> ポート COM1</td></t<>	概要	#) ・パーズ [0/0p4 ミルマルコミュニケーミュン	<u>接続機器変更</u> ポート COM1
通信設定 通信方式 ・ RS282C ・ RS422/485(2線式) ・ RS422/485(4線式) 通信速度 19200 ・ データ長 ・ 7 ・ 8 パリティ ・ なし ・ 催散数 ・ 奇数 ストップビット ・ 1 ・ 2 フロー制御 ・ なし ・ ER(DTR/CTS) ・ XON/XOFF タイムアウト 3 ・ (sec) リトライ 2 ・ 送信ウェイト ・ 0 ・ (ms) 形式 ・ OnA互換4Cフレーム:形式5 ・ RI / VCC ・ RI ・ VCC RS282Cの場合。9年ビッをR(入力)にするかVCC(6V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS282Cアイソレージョンユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してただとい。 初期設定 機器の設定 種類可能合数 16台 機器を追加	文字列データモード	2 <u>変更</u>	AF 1 [000111
通信方式 ○ RS222C ○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式) 通信方式 ○ RS222C ○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式) 通信方式 ○ RS422/485(4線式) 通信方式 ○ RS422/485(4線式) 通信方式 ○ RS422/485(4線式) データ長 ○ 7 ○ 8 パリティ ○ なし ○ 偶数 ○ 奇数 ストップビット ○ 1 ○ 2 フロー制御 ○ なし ○ ER(DTR/CTS) ○ XON/XOFF タイムアウト 3 ○ (sec) リトライ 2 ○ (sec) リトライ 1 ○ (sec) リトライ 2 ○ (sec) ド式 ○ OnA互換4Cフレーム: 形式5 ▼ RI / VCC ○ RI ○ VCC RS232Cの引会。 Sffe U^> SR(人) // C * Sah VCC(5V電源供給) (c * Sah Sec * U^> (x * Sah VCC(5V電源供給)) (c * Sah Sec * U^> (x * Sah VCC(5V電源供給)) (c * Sah Sec * U^> (x * Sah VCC(5V電源供給)) (c * Sah Sec * U^> (x * Sah VCC(5V電源(H給))) # 4 使用する場合は、VCCを 建訳して(ださい) 初期設定 機器5 16台 機器5 道加 No 機器名 設定 問技機器	通信設定		
通信速度     19200       データ長     7       データ長     7       パツティ     なし       パツティ     なし       「個数     奇数       パッデジット     1       マロー制御     なし       クロー制御     なし       アン     3       (sec)     リトライ       12     三       送信ウェイト     1       13     (sec)       リトライ     1       14     10       15     マ       アン     No (WB4       設定     164	通信方式	● RS232C ● RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)	
データ長       07       08         パリティ       なし       6         ストップビット       01       2         フロー制御       なし       0 ER(DTR/CTS)       XON/XOFF         タイムアウト       3       (sec)         リトライ       2          送信ウェイト       0       (ms)         形式       OnA互換4C7レーム:形式5       マ         RI / VCC       C RI       C VCC         R5232Cの場合。9番ピンをRI(入力)にするかVCOC(6V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCOを選択して(たさい。       初期設定         機器B1服定       機器を追加       間技機器 追加	通信速度	19200	
パツティ       C なし       C 偶数       ● 寄数         ストップビット       0       2         フロー制御       C なし       ● ER(DTR/CTS)       C XON/XOFF         タイムアウト       3       (sec)         リトライ       2       -         逆信ウェイト       0       (ms)         形式       OnA互換4Cフレーム:形式5       ▼         RI / VOC       ● RI       ● VOC         RS232Cの場合。9番 ピンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジカル製RS232Cアイソレーションニッ トを使用する場合は、VOCを選択してただとい。       初期設定         機器印設定        16台       機器を追加         No       機器名       設定       間接機器 追加	データ長	07 08	
ストップビット       ・1       ・2         フロー制御       なし       ・ER(DTR/CTS)       C XON/X0FF         タイムアウト       3       ・       (sec)         リトライ       2       ・       ・         送信ウェイト       0       ・       ・       ・         形式       OnA互換4Cフレーム:形式5       ・       ・       ・         RI / VCC       ・       ・       ・       ・         R5232Cの場合、9番 ピンをRI(入力)にするかVCO(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製R52320アイソレージョンニッ トを使用する場合は、VOCを選択してください。       ・       ・         機器別設定        ・       ・       ・       ・         核売可能台数       16台       ・       ・       ・       ・         No       機器名       設定           ・           No       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・         11       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・         ア       トを用する場合は、       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・	パリティ	○ なし ○ 偶数 ● 奇数	
フロー制御       なし       ● ER(DTR/CTS)       ● XON/XOFF         タイムアウト       3       (sec)         リトライ       2       」         送信ウェイト       0       (ms)         形式       OnA互換4Cフレーム:形式5       ▼         RI / VCC       ● RI       ● VCC         RS232Cの場合。9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) (ごするかを選択できます。デジタル製RS2332 アイソレージョンニットを使用する場合は、VCCを選択して(ださい。)       初期設定         機器別設定       接続可能台数       16台       機器を追加         No       機器名       設定       間接機器 追加	ストップビット		
タイムアウト     3     1     (sec)       リトライ     2     1       送信ウェイト     0     1     (ms)       形式     OnA互換4Cフレーム:形式5     ▼       RI / VCC     で RI     C VCC       RS232Cの場合。9番ピンをRI(入力)にするかVCO(5V電源供給) にするかを選択して(たさい。     1       水間時間支援     接続可能台数     16台       水器     16台     振器を追加	フロー制御	C なし ● ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
リトライ     2       送信ウェイト     0       形式     OnA互換4C7レーム:形式5       RI/VCC     C       RI/VCC     C       RS232C0/場合。9番ビンをRI(入力)にするか VCO(5V電源供給) にするかを選択して(たさい。       ドを使用する場合は、VOCを選択して(たさい。       機器別設定       接続可能台数     16台       機器を追加	タイムアウト	3	
送信ウェイト     0     1(ms)       形式     OnA互換4Cフレーム:形式5        RI / VOC     C     RI       C VOC     RS232Cの場合。9番ピンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VOCを選択してただい。     初期設定       機器別設定     接続可能台数     16台     機器な追加       No     機器名     設定     間接機器 追加	リトライ	2	
<ul> <li>形式 OnA互換4Cフレーム形式5 ・</li> <li>RI/VCC ・ RI ・ VOC</li> <li>RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCO(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS233Cアイソレーションニットを使用する場合は、VOCを選択してださい。</li> <li>機器別設定</li> <li>接続可能合数 16台 機器を追加</li> <li>No 機器名 設定 間接機器</li> </ul>	送信ウェイト	0 (ms)	
RI / VCC     RI     O VCC       RS2320の場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製PS2320アイソレーションユニットを使用する場合は、VCOを選択してください。     初期設定       機器別設定     接続可能台数     16台       扱定     間接機器       No     機器名     設定	形式	QnA互換4Cフレーム:形式5 👤	
RS232Cの場合、9番ピンをR(入力)にするかVOC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VOCを選択してください。     初期設定       機器別設定 接続可能台数     16台     機器を追加       No     機器名     設定	RI / VCC	RI ○ VCC	
Fを使用する場合は、VOCを選択してください。     初期設定       機器別設定        接続可能台数     16台       機器名     設定	RS232Cの場合、 にするかを選択で	番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) きます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ	
機器別設定 接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u> No 機器名 設定 間接機器 追加	下を使用する場合	は、VCCを選択してください。 初期設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u> No 機器名 設定 間接機器 」	機器別設定		
No 機器名 設定 間接機器 追加 追加	接続可能台数	16台 機器を追加	
	No 機器名	設定	間接機器 追加
↓  PLC1   LC1   L  >リース=iQ=Rシリーズ、局番号=0、マルチCPUシステム=f. 見	👗 1 PLC1	■ シリーズ=iQ-Rシリーズ、局番号=0、マルチCPUシステム=(	<b>F</b>

МЕМО

 マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[形式]で「QnA 互換 3C フレーム:形式4」を選択してください。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

差 個別機器設定 ×	靜 個別機器設定	×
PLC1	PLC1	
<ul> <li>基本設定 他局アクセス</li> <li>シリーズ QRシリーズ ✓</li> <li>局番号 0 ◆</li> <li>マルチCPUシステム</li> <li>CPU台数 1 ◆</li> <li>QシリーズC24装着局に接続</li> <li>3Cフレーム形式4オブション</li> <li>XY 8進 ● XY 16j進数</li> <li>ビット指定したワードアドレスへのビット操作</li> <li>ワート内のその他のビットテ<sup>ヘ</sup>タ ● クリアする</li> <li>クリアしない</li> <li>アクリアしない」を選択した場合の注意。表示 器が接続機器のワードのデータを読出し接続 機器へ書込むまでの間に、そのワードアドレス の値をラダ、プログラムで変更すると、正しい データが書込まれない場合があります。</li> </ul>	基本設定       他局アクセス         ネットワーク番号       0         PC番号       255         要求先ユニット       レ/O番号         J/O番号       0         局番号       0	
初期設定 OK(O) キャンセル	OK(0)	初期設定 キャンセル
## ■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定はエンジニアリングソフトウェア (MELSOFT GX Works3) で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- (1) エンジニアリングソフトウェアを起動します。
- (2) ツリービューの[パラメータ]から[ユニット情報]をクリックします。使用するリンク I/Fの [ユニットパラメータ]をダブルクリックします。
- (3) 表示された [ユニットパラメータ] 設定ウィンドウで以下の設定を行います。
- 基本設定

設定項目	設定値
プロトコル形式	MC プロトコル
データ長	8bit
パリティ	奇数
ストップビット	1bit
ボーレート	19200
サムチェック	付加する

• 固有設定

設定項目	設定値
伝文形式	形式 5

MEMO

• RJ71C24 を使用する場合は ch1 に設定してください。

# 3.9 設定例 9

# ■ GP-Pro EX の設定

### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		拉纳地理亦不
100要 メーカー 三莽雷相	(休) シリーズ (Q/QnA シリアルコミュニケーション	
文字列データモート		
通信設定		
通信方式	○ RS232C ○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)	
通信速度	19200	
データ長	C 7 • 8	
パリティ	○ なし ○ 偶数 ● 奇数	
ストップビット	⊙ 1 ○ 2	
フロー制御	● なし ● ER(DTR/CTS) ● XON/XOFF	
タイムアウト	3	
リトライ	2	
送信ウェイト	0	
形式	QnA互換4Cフレーム:形式5 🔹	
BL/ VGG	C RI C VCC	
RS232Cの場合、	9番ピンをRI(入力)にするか VOO(5V電源供給)	
しこするかを選択で トを使用する場合	きます。テジタル製RS232Cアイソレージョンユニッ は、VCCを選択してください。	1
機器即設定		1
接続可能台数	16台 機器を追加	
		間接機器
No 機器名		追加
I PLC1	シリーズ=iQ-Rシリーズ、局番号=0、マルチCPUシステム=f.	<b>1</b>

МЕМО

 マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[形式]で「QnA 互換 3C フレーム:形式4」を選択してください。

#### ♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

差 個別機器設定 ×	靜 個別機器設定	×
PLC1	PLC1	
<ul> <li>基本設定 他局アクセス</li> <li>シリーズ QRシリーズ ✓</li> <li>局番号 0 ◆</li> <li>マルチCPUシステム</li> <li>CPU台数 1 ◆</li> <li>QシリーズC24装着局に接続</li> <li>3Cフレーム形式4オブション</li> <li>XY 8進 ● XY 16j進数</li> <li>ビット指定したワードアドレスへのビット操作</li> <li>ワート内のその他のビットテ<sup>ヘ</sup>タ ● クリアする</li> <li>クリアしない</li> <li>アクリアしない」を選択した場合の注意。表示 器が接続機器のワードのデータを読出し接続 機器へ書込むまでの間に、そのワードアドレス の値をラダ、プログラムで変更すると、正しい データが書込まれない場合があります。</li> </ul>	基本設定       他局アクセス         ネットワーク番号       0         PC番号       255         要求先ユニット       レ/O番号         J/O番号       0         局番号       0	
初期設定 OK(O) キャンセル	OK(0)	初期設定 キャンセル

## ■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定はエンジニアリングソフトウェア (MELSOFT GX Works3) で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- (1) エンジニアリングソフトウェアを起動します。
- (2) ツリービューの[パラメータ]から[ユニット情報]をクリックします。使用するリンク I/Fの [ユニットパラメータ]をダブルクリックします。
- (3) 表示された [ユニットパラメータ] 設定ウィンドウで以下の設定を行います。
- 基本設定

設定項目	設定値
プロトコル形式	MC プロトコル
データ長	8bit
パリティ	奇数
ストップビット	1bit
ボーレート	19200
サムチェック	付加する

• 固有設定

設定項目	設定値
伝文形式	形式 5

MEMO

• RJ71C24 を使用する場合は ch2 に設定してください。

# 3.10 設定例 10

# ■ GP-Pro EX の設定

#### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		接続機器変更
メーカー 三菱電機(株)	シリーズ Q/QnA シリアルコミュニケーション	ポート COM1
文字列データモード 2 変	<u>,</u>	,
通信設定		
通信方式	32C C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式	0
通信速度 19200	<b>_</b>	
データ長 〇 7	• 8	
パリティ 🔿 なし	○ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット 💿 1	C 2	
フロー制御 🛛 なし	C XON/XOFF	
タイムアウト 3	🗄 (sec)	
リトライ 2		
送信ウェイト 0	(ms)	
形式 QnA互	換4Cフレーム: 形式5 📃 🔽	
RI / VCC C BI	C VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI	(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを選択できます。デジ トを使用する場合は、VCCを	タル製RS232Cアイソレーションユニッ 選択してください。	± 1
		~ <u></u>
1版研加設定 接続可能会数 16台	継器を追加	
120/201182 0 22 10 2		問接継器
No 機器名	設定	追加
👗 1 PLC1	シリーズ=iQ-Fシリーズ,局番号=0,マルチCPUシステム=(	<b>-</b>

МЕМО

 マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[形式]で「QnA 互換 3C フレーム:形式4」を選択してください。

#### ♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

差 個別機器設定 ×	靜 個別機器設定	×
PLC1	PLC1	
<ul> <li>基本設定 他局アクセス</li> <li>シリーズ Q-Fシリーズ ✓</li> <li>局番号 0 ◆</li> <li>マルチ CPU システム</li> <li>CPU 合数 1 ◆</li> <li>Qシリーズ 024 装着局に接続</li> <li>3Cフレーム 形式4 オブション</li> <li>③ XY 8進 ○ XY 16道</li> <li>ビット指定したワードアドレスへのビット操作</li> <li>ワートやのその他のビットデータ ● クリアする</li> <li>○ クリアしない</li> <li>アリアしない」を選択した場合の注意。表示</li> <li>器が接続機器のワードのデータを読出し接続</li> <li>報告 オンシュキでの間に、そのワードアドレスの の値をラゲーフロラムで変更すると、正しい データが書込まれない場合があります。</li> </ul>	基本設定       他局アクセス         ネットワーク番号       0         PC番号       255         要求先ユニット       レ/O番号         J/O番号       0         局番号       0	
初期設定 OK(O) キャンセル	OK(0)	初期設定 キャンセル

## ■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定はエンジニアリングソフトウェア (MELSOFT GX Works3) で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- (1) エンジニアリングソフトウェアを起動します。
- (2) ツリービューの[パラメータ]から[ユニット情報]をクリックします。使用するリンク I/Fの [ユニットパラメータ]をダブルクリックします。
- (3) 表示された [ユニットパラメータ] 設定ウィンドウで以下の設定を行います。
- 基本設定

設定項目	設定値
プロトコル形式	MC プロトコル
データ長	8bit
パリティ	奇数
ストップビット	1bit
ボーレート	19200
サムチェック	付加する

• 固有設定

設定項目	設定値	
伝文形式	形式 5	

# 3.11 設定例 11

# ■ GP-Pro EX の設定

#### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

概要 メーカー 三菱電機	(株) シリーズ Q/OnA シリアルコミュニケーション	<u>接続機器変</u> / ポート COM1
文字列データモート		
通信設定		
通信方式	○ RS232C ○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線	(元泉
通信速度	19200	
データ長	C 7 C 8	
パリティ	○ なし ○ 偶数 ● 奇数	
ストップビット	● 1 ○ 2	
フロー制御	● なし ● ER(DTR/CTS) ● XON/XOFF	
タイムアウト	3 :: (sec)	
リトライ	2	
送信ウェイト	0 :: (ms)	
形式	QnA互換4Cフレーム:形式5 🔹	
RL / VCC		
RS232Cの場合、	9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを選択で トを使用する場合	きます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ は、VCCを選択してください。	
1版研加1度在 接続可能会数	16会 继程友谊加	
19072-1 BE 🗆 9X		問接機器
No 機器名	設定	治的

МЕМО

 マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[形式]で「QnA 互換 3C フレーム:形式4」を選択してください。

#### ♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

差 個別機器設定 ×	靜 個別機器設定	×
PLC1	PLC1	
<ul> <li>基本設定 他局アクセス</li> <li>シリーズ Q-Fシリーズ ✓</li> <li>局番号 0 ◆</li> <li>マルチ CPU システム</li> <li>CPU 合数 1 ◆</li> <li>Qシリーズ 024 装着局に接続</li> <li>3Cフレーム 形式4 オブション</li> <li>③ XY 8進 ○ XY 16道</li> <li>ビット指定したワードアドレスへのビット操作</li> <li>ワートやのその他のビットデータ ● クリアする</li> <li>○ クリアしない</li> <li>アリアしない」を選択した場合の注意。表示</li> <li>器が接続機器のワードのデータを読出し接続</li> <li>報告 オンシュキでの間に、そのワードアドレスの の値をラゲーフロラムで変更すると、正しい データが書込まれない場合があります。</li> </ul>	基本設定       他局アクセス         ネットワーク番号       0         PC番号       255         要求先ユニット       レ/O番号         J/O番号       0         局番号       0	
初期設定 OK(O) キャンセル	OK(0)	初期設定 キャンセル

## ■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定はエンジニアリングソフトウェア (MELSOFT GX Works3) で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- (1) エンジニアリングソフトウェアを起動します。
- (2) ツリービューの[パラメータ]から使用する接続機器の[ユニットパラメータ]を展開し、[485 シリアルポート]をダブルクリックします。
- (3) 表示された [ユニットパラメータ 485 シリアルポート]ウィンドウで以下の設定を行います。
- 基本設定

設定項目	設定値
プロトコル形式	MC プロトコル
データ長	8bit
パリティ	奇数
ストップビット	1bit
ボーレート	19200
サムチェック	付加する

• 固有設定

設定項目	設定値
伝文形式	形式 5

# 3.12 設定例 12

# ■ GP-Pro EX の設定

#### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1   概要		接続機器変更
メーカー 三菱電材	(株) シリーズ Q/QnA シリアルコミュニケーション	ポート COM1
文字列データモー	* 2 変更	
通信設定		
通信方式	○ RS232C ● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度	19200	
データ長	C 7 C 8	
パリティ	○ なし ○ 偶数 ● 奇数	
ストップビット		
フロー制御	© なし ● ER(DTR/CTS) © XON/XOFF	
タイムアウト	3	
リトライ	2	
送信ウェイト	0	
形式	QnA互換4Cフレーム: 形式5	
RI / VCC	C RI C VOG	
RS232Cの場合。 にするかを選択す	9番ピンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給)	
トを使用する場	となり、クランが最もにとなるフィークレークヨンエニット いは、VOCを選択してください。 初期設定	1
機器別設定		
接続可能台数	16台 <u>機器を追加</u>	
N	50,	間接機器
	設定 「「「「パーパー」の一般がリーブ」日本号ールマルギのPIド・ファルー(	追加
M PLOT		

МЕМО

 マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[形式]で「QnA 互換 3C フレーム:形式4」を選択してください。

#### ♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

差 個別機器設定 ×	靜 個別機器設定	×
PLC1	PLC1	
<ul> <li>基本設定 他局アクセス</li> <li>シリーズ QRシリーズ ✓</li> <li>局番号 0 ◆</li> <li>マルチCPUシステム</li> <li>CPU台数 1 ◆</li> <li>QシリーズC24装着局に接続</li> <li>3Cフレーム形式4オブション</li> <li>XY 8進 ● XY 16j進数</li> <li>ビット指定したワードアドレスへのビット操作</li> <li>ワート内のその他のビットテ<sup>ヘ</sup>タ ● クリアする</li> <li>クリアしない</li> <li>アクリアしない」を選択した場合の注意。表示 器が接続機器のワードのデータを読出し接続 機器へ書込むまでの間に、そのワードアドレス の値をラダ、プログラムで変更すると、正しい データが書込まれない場合があります。</li> </ul>	基本設定       他局アクセス         ネットワーク番号       0         PC番号       255         要求先ユニット       レ/O番号         J/O番号       0         局番号       0	
初期設定 OK(O) キャンセル	OK(0)	初期設定 キャンセル

## ■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定はエンジニアリングソフトウェア (MELSOFT GX Works3) で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- (1) エンジニアリングソフトウェアを起動します。
- (2) ツリービューの[パラメータ]から[ユニット情報]をクリックします。使用するリンク I/Fの [ユニットパラメータ]をダブルクリックします。
- (3) 表示された [ユニットパラメータ] 設定ウィンドウで以下の設定を行います。
- 基本設定

設定項目	設定値
プロトコル形式	MC プロトコル
データ長	8bit
パリティ	奇数
ストップビット	1bit
ボーレート	19200
サムチェック	付加する

• 固有設定

設定項目	設定値
伝文形式	形式 5

MEMO

• RJ71C24 を使用する場合は ch2 に設定してください。

# 3.13 設定例 13

# ■ GP-Pro EX の設定

#### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1 概要				接続機器変更
メーカー 三菱電機	(株)	 シリーズ Q/QnA	A シリアルコミュニケーション	ポート COM1
文字列データモー	× 2 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式)	) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度	19200	•		
データ長	0.7	8     8		
パリティ	○ なし	○ 偶数	• 奇数	
ストップビット	⊙ 1	C 2		
フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	3 🗄	(sec)		
リトライ	2 🗄			
送信ウェイト	0 🗄	(ms)		
形式	。 QnA互換4Cフ	ノーム:形式5 💽		
PL / VCC	6 DT	C VCC		
RS232Cの場合、	9番ピンをRI(入力)	、 - するかVCC(5V電源供給	) (ć	
にするかを選択で トを使用する場合	きます。デジタル製作 は、VCCを選択し	S292Cアイソレーションユニ ください。	27 hn#054cm	
			*//共相反定	
機器別設定	1045 1889	(大)户to		
的元叶配面数				日日十年4月5年
No 機器名	設定			追加
👗 1 PLC1	📰 🖬 (SU-)	(=iQ-Fシリーズ,局番号=0,	マルチCPUシステム=ビ	<b>.</b>

МЕМО

 マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[形式]で「QnA 互換 3C フレーム:形式4」を選択してください。

#### ♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

差 個別機器設定 ×	靜 個別機器設定	×
PLC1	PLC1	
<ul> <li>基本設定 他局アクセス</li> <li>シリーズ Q-Fシリーズ &gt;</li> <li>局番号 0 ◆</li> <li>マルチCPUシステム</li> <li>CPU台数 1 ◆</li> <li>QシリーズC24装着局に接続</li> <li>3Cフレーム形式4オブション</li> <li>③ XY 8進 XY 16進数</li> <li>ビット指定したワードアドレスへのビット操作</li> <li>ワート内のその他のビットデータ ● クリアする</li> <li>クリアしない1を選択した場合の注意。表示</li> <li>器が接続機器のワードのデータを読出し接続 機器へ書込むまでの間に、そのワードアドレス の値をラゲーアロウラムで変更すると、正しい データが書込まれない場合があります。</li> </ul>	基本設定       他局アクセス         ネットワーク番号       0         PC番号       255         要求先ユニット       レ/O番号         J/O番号       0         局番号       0	
初期設定 OK(O) キャンセル	OK(0)	初期設定 キャンセル

## ■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定はエンジニアリングソフトウェア (MELSOFT GX Works3) で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- (1) エンジニアリングソフトウェアを起動します。
- (2) ツリービューの[パラメータ]から使用する接続機器の[ユニットパラメータ]を展開し、[485 シリアルポート]をダブルクリックします。
- (3) 表示された [ユニットパラメータ 485 シリアルポート]ウィンドウで以下の設定を行います。
- 基本設定

設定項目	設定値
プロトコル形式	MC プロトコル
データ長	8bit
パリティ	奇数
ストップビット	1bit
ボーレート	19200
サムチェック	付加する

• 固有設定

設定項目	設定値
伝文形式	形式 5

# 4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

🧊 「3 通信設定例」(14 ページ)

#### 4.1 GP-Pro EX での設定項目

#### ■ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー  三菱電機(株) シリーズ  Q/QnA シリアルコミュニケーション ポ	
文字列データモード 2 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C   〇 RS422/485(2線式)   〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 〇 7 ④ 8	
パリティ 🔿 なし 🔿 偶数 💿 奇数	
ストップピット	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
ሀ ኮ চ ብ 🔁 🚍	
送信ウェイト 0 🗮 (ms)	
形式 QnA互換4Cフレーム:形式5 💽	
RI/VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCO(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期指数定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 機器名 設定 1 PLC1	)接機器 追加
	<u>∓11</u>

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。
	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。
タイムアウト	МЕМО

次のページに続きます。

設定項目	設定内容			
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。			
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。			
形式	使用する MELSEC コミュニケーションプロトコルの交信フレームを「QnA 互換 3C フレーム:形式 4」または「QnA 互換 4C フレーム:形式 5」から選択します。 MEMO マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は「QnA 互換 3C フレー ム:形式 4」を選択してください。			
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に、9番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。			
• 間接機器については GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。				

間接機器については GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
 参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「運転中に接続機器を切り替えたい(間接)

機器指定 )」

## ■ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

• Q/QnA シリーズ、iQ-R シリーズ選択時





• iQ-F シリーズ選択時

差 個別機器設定 ×	靜 個別機器設定	×
PLC1	PLC1	
基本設定他局アクセス	基本設定 他局アクセス	
シリーズ iQ-Fシリーズ 〜	ネットワーク番号 0 🚖	
局番号 0 🜩	PC番号 255 🚖	
□ マルチCPUシステム	要求先ュニット	
CPU台数 1	I/O番号 1023 🚖	
□ QシリーズC24装着局に接続	局番号 0 🚖	
● XY 8進  XY 16進数     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・		
初期設定	和其代	設定
OK(0) キャンセル	OK(0) キャン	セル

設定項目	設定内容				
シリーズ	使用する接続機器のシリーズを選択します。				
局番号	表示器と直接接続する接続機器の局番号を「0~31」で入力します。				
マルチ CPU システム	マルチ CPU システムを使用する場合にチェックを入れます。				
	マルチ CPU システムで使用する CPU の台数を「1~4」で入力します。				
CPU 台数	МЕМО				
	• [CPU 台数]は[マルチ CPU システム]にチェックを入れた場合のみ設定できます。				
Q シリーズ C24 装着 局に接続	使用するリンク I/F が Q シリーズ C24 ユニットの場合にチェックを付けます。Q シリーズ C24 ユニットを使用しない場合はチェックを外します。 Q シリーズ C24 ユニットを使用しない場合にチェックを付けると、接続機器でエ ラーが表示される可能性があります。				
	交信フレームが「QnA 互換 3C フレーム:形式 4」の場合に、接続機器と通信するデータ形式を「X.Y 8 進数」または「X.Y 16 進数」から選択します。				
3C フレーム形式 4 オ	МЕМО				
フジョン	• [3C フレーム形式4オプション]は[通信設定]-[形式]から「QnA 互換 3C フレーム:形式4」を、[個別機器設定]-[基本設定]-[シリーズ]から[iQ-F シリーズ]を選択した場合のみ設定できます。				
ワード内のその他の ビットデータ	ビット指定したワードアドレスヘビット操作をした場合の、同一ワード内のその 他のビットデータの扱いを「クリアする」「クリアしない」から選択します。				
ネットワーク番号	ネットワーク経由で通信するときに設定します。通信する接続機器のネットワーク番号を「0~239」で入力します。ネットワークを経由しない場合は「0」を入力します。				
PC 番号	ネットワーク経由で通信するときに設定します。通信する接続機器の PC 番号を 「0~64」「125~126」で入力します。ネットワークを経由しない場合は「255」 を入力します。				
要求先ユニット I/O 番 号	ネットワーク経由で通信するときに設定します。通信する接続機器の I/O 番号を 「0~511」で入力します。ネットワークを経由しない場合は「1023」を入力しま す。先頭 XY を 10 進数に変換し、16 で割った値を入力してください。				
要求先ユニット局番号	ネットワーク経由で通信するときに設定します。通信する接続機器の局番号を 「0~31」で入力します。ネットワークを経由しない場合は「0」を入力します。				

#### 4.2 オフラインモードでの設定項目

MEMO

 オフラインモードへの入り方や操作方法は保守/トラブル解決ガイドを参照してく ださい。

参照:保守/トラブル解決ガイド「オフラインモードについて」

オフラインモードは使用する表示器によって1画面に表示できる設定項目数が異なります。詳細はリファレンスマニュアルを参照してください。

## ■ 通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。



設定項目	設定内容					
	接続機器と通信する通信方式を選択します。					
通信方式	重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様 を確認し、正しく設定してください。シリアルインターフェイスが対応していな い通信方式を選択した場合の動作は保証できません。シリアルインターフェイス の仕様については表示器のマニュアルを参照してください。					
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。					
データ長	データ長を選択します。					
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。					
ストップビット	ストップビット長を選択します。					
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。					
	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(sec)を「1~127」で入力します。					
タイムアウト	МЕМО					
	ネットワークを経由して通信する場合、タイムアウトの設定は中継局の応答監視 時間よりも大きな値を設定してください。					

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。
	使用する MELSEC コミュニケーションプロトコルの交信フレームを「QnA 互換 3C フレーム:形式 4」または「QnA 互換 4C フレーム:形式 5」から選択します。
形式	MEMO マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は「QnA 互換 3C フレー
	ム:形式4」を選択してください。

## ■ 機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。 (1/2ページ)



設定項目	設定内容				
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])				
シリーズ	接続機器のシリーズを表示します。				
局番号	表示器と直接接続する接続機器の局番号を「0~31」で入力します。				
マルチ CPU	マルチ CPU システムの設定を「使用しない」または「1~4」で表示します。				
Q シリーズ C24 装着局	使用するリンク I/F が Q シリーズ C24 ユニットの場合に「ON」を選択します。Q シリーズ C24 ユニットを使用しない場合は「OFF」を選択します。 Q シリーズ C24 ユニットを使用しない場合に「ON」を選択すると接続機器でエ ラーが表示される可能性があります。				
3C フレーム形式 4 オ プション	交信フレームが「QnA 互換 3C フレーム:形式 4」の場合に、接続機器と通信す るデータ形式を「X.Y 8 進数」または「X.Y 16 進数」で表示します。				
ネットワーク番号	ネットワーク経由で通信するときに設定します。通信する接続機器のネットワーク番号を「0~239」で入力します。ネットワークを経由しない場合は「0」を入力します。				
PC 番号	ネットワーク経由で通信するときに設定します。通信する接続機器の PC 番号を 「0~64」「125~126」で入力します。ネットワークを経由しない場合は「255」 を入力します。				
要求先ユニット I/O 番 号	ネットワーク経由で通信するときに設定します。通信する接続機器の I/O 番号を 「0~511」で入力します。ネットワークを経由しない場合は「1023」を入力しま す。先頭 XY を 10 進数に変換し、16 で割った値を入力してください。				
要求先ユニット局番号	ネットワーク経由で通信するときに設定します。通信する接続機器の局番号を 「0~31」で入力します。ネットワークを経由しない場合は「0」を入力します。				

重要

 同じ機器設定の機器を複数設定しないでください。不正なアドレスが読まれる場合 があります。

(2/2ページ)

通信設定	機器設定	オプション		
Q/QnA シリアルコ	コミュニケーション	/	[COM1]	Page 2/2
接続	器名 PLC	01		<b>_</b>
	ビット指定したワ	ードアドレスへの	ビット操作	
	他のビット	クリアする	5	
	終了		戻る	2022/12/16 10:34:39

設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])
ビット指定したワード アドレスへのビット操 作	ビット指定したワードアドレスヘビット操作をした場合の、同一ワード内のその 他のビットデータの扱いを「クリアする」、「クリアしない」で表示します。(オ フラインモードでは設定できません。)

 同じ機器設定の機器を複数設定しないでください。不正なアドレスが読まれる場合 があります。

! 罢 |

# ■ オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。



設定項目	設定内容				
RI/VCC	通信方式でRS232Cを選択した場合に、9番ピンのRI/VCCを切り替えます。 IPCと接続する場合はIPCの切替スイッチでRI/5Vを切り替える必要がありま す。詳細はIPCのマニュアルを参照してください。				
• C	iP-4100 シリーズ、GP-4*01TM および GP-Rear Module の場合、オフラインモードに				
l	オノンヨン」の設定はめりません。				

# 5 結線図

以下に示す結線図と三菱電機(株)が推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線図 でも動作上問題ありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

結線	図 1
----	-----

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000 <sup>*1</sup> (COM1) SP5000 <sup>*2</sup> (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC <sup>*3</sup> PC/AT	1A	(株) デジタル製 三菱 Q リンクケーブル CA3-CBLLNKMQ-01	
	1B	自作ケーブル	ケーブル長は最大 15m 以内にしてください。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	1C	自作ケーブル	ケーブル長は最大 15m 以内にしてください。

\*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

\*2 SP-5B00 を除く

\*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 <sup>(3)</sup> ■ IPC の COM ポートについて (10 ページ)

1A)



1B)

C	表示 Sub9ピン	示器側 ン(ソケッ	F)				接続様 D-sub9ピ	<sub>幾</sub> 器側 ン(プラグ
	ピン	信号名	]	シー)	レド 		ピン	信号名
表示器	2	RD(RXD)	◀		$\frac{1}{1}$		3	SD(TXD)
	3	SD(TXD)		<u> </u>	$\frac{1}{1}$		2	RD(RXD)
	4	ER(DTR)	<u> </u>	<u> </u>		┍─▶	6	DSR(DR)
	5	SG					5	SG
	7	RS(RTS)				┝	1	CD
	8	CS(CTS)	◀	<u> </u>			4	DTR(ER)
			-				8	CS(CTS)
				\	<u>\</u>		シェル	FG

1C)

	表示器側 端子台	_				接続材 D-sub9ピ	幾器側 ′ン(プラグ)́
表示器	信号名	]	$\sqrt{-\nu}$			ピン	信号名
	RD(RXD)	←──	+	$\frac{1}{1}$		3	SD(TXD)
	SD(TXD)			$\frac{1}{1}$		2	RD(RXD)
	ER(DTR)				<b>+</b> →	6	DSR(DR)
	SG	<u> </u>			-	5	SG
	RS(RTS)	<u> </u>			┢	1	CD
	CS(CTS)	∙──	1			4	DTR(ER)
						8	CS(CTS)
			1	\́∳		シェル	FG

結線図2

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 <sup>*1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 <sup>*2</sup> (COM2) LT3000 (COM1) IPC <sup>*3</sup>	2A 2B	<ul> <li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li></ul>	ケーブル長は最大 500m にしてくださ い。
GP3000 <sup>*4</sup> (COM2)	2C 2D	<ul> <li>(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01         <ul> <li>+</li> <li>(株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li></ul></li></ul>	ケーブル長は最大 500m にしてくださ い。
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	2E	自作ケーブル	ケーブル長は最大 500m にしてくださ い。
GP4000 <sup>*5</sup> (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 <sup>*6</sup> (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 <sup>*7</sup> (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 <sup>*8</sup> (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	2F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 <sup>99</sup> + 自作ケーブル	
	2B	自作ケーブル	ケーブル長は最大 500m にしてくださ い。
PE-4000B <sup>*10</sup> PS5000 <sup>*10</sup> PS6000 (オプションイ ンターフェイス) <sup>*10</sup>	2G	自作ケーブル	ケーブル長は最大 500m にしてくださ い。

\*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

\*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

\*3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

■ IPC の COM ポートについて (10 ページ)

\*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

\*5 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種

\*6 SP-5B00 を除く

- \*7 ST-6200 を除く
- \*8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- \*9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、2A の結線図を参照してください。
- \*10 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ■ IPC の COM ポートについて (10 ページ)
  - 2A)
  - 1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



2B)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



2C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



2D)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



2E)

1:1 接続の場合



\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	OFF

1:n 接続の場合



\*2 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	ON
2	OFF
3	ON
4	OFF

2F)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



2G)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



結線図3

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000 <sup>*1</sup> (COM1) SP5000 <sup>*2</sup> (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC <sup>*3</sup> PC/AT	3A	<ul> <li>(株) デジタル製 三菱 Q 接続ケーブル CA3-CBLQ-01 (5m) または</li> <li>三菱電機(株) 製 RS-232C ケーブル QC30R2 (3m) または</li> <li>ダイヤトレンド(株) 製 QCPU 接続用 RS-232C ケーブル DQCABR2V-H</li> </ul>	ダイヤトレン ド (株) 製 DQCABR2V-H は、15m まで オーダー制作 可能です。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	3B	(株) デジタル製三菱 PLC Q シリーズ直結ケーブル ZC9CBQ31(3m)	

\*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

- \*2 SP-5B00 を除く

3A)



3B)


結線図4

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000 <sup>*1</sup> (COM1) SP5000 <sup>*2</sup> (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) ET6000 (COM1) IT3000 (COM1) IPC <sup>*3</sup> PC/AT	4A	(株)デジタル製 RS-232C ケーブル CA3-CBL232/5M-01(5m)	
	4B	自作ケーブル	ケーブル長は最大 15m 以内にしてください。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	4C	自作ケーブル	ケーブル長は最大 15m 以内にしてください。

\*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

\*2 SP-5B00 を除く

\*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 <sup>⑦</sup> ■ IPC の COM ポートについて (10 ページ)

4A)



4B)



4	C)
	- /

表示器
-----

14			

表示器側 端子台	<b>N</b>	接続様 25ピン	機器側 ∕(プラグ)
信号名	) ジールド /****/	ピンNo.	信号名
RD(RXD)		2	SD(TXD)
SD(TXD)		3	RD(RXD)
ER(DTR)	<u> </u>	6	DSR(DR)
SG		7	SG
RS(RTS)		8	CD
CS(CTS)		20	DTR(ER)
	$\langle \langle \downarrow \rangle$	5	CS(CTS)
	<u>\¥</u>	1	FG

### 結線図 5

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 <sup>*1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 <sup>*2</sup> (COM2) LT3000 (COM1) IPC <sup>*3</sup>	5A 5B	<ul> <li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li></ul>	ケーブル長は最大 500m にしてくださ い。
$GP3000^{*4} (COM2) \begin{pmatrix} (株) デジタル製 オンラインアダプタ \\ CA4-ADPONL-01 \\ + \\ (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ \\ CA3-ADPTRM-01 \\ + \\ 自作ケーブル \\ \\ \\ 5D \\ (株) デジタル製 オンラインアダプタ \\ CA4-ADPONL-01 \\ + \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ $		ケーブル長は最大 500m にしてくださ い。	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	5E	自作ケーブル	ケーブル長は最大 500m にしてくださ い。
GP4000 <sup>*5</sup> (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 <sup>*6</sup> (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	5F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル	
ST-6200 (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 <sup>*8</sup> (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	5B	自作ケーブル	ケーフル長は最大 500m にしてくださ い。
PE-4000B <sup>*10</sup> PS5000 <sup>*10</sup> PS6000 (オプション インターフェイス) <sup>*10</sup>	5G	自作ケーブル	ケーブル長は最大 500m にしてくださ い。

\*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

\*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

\*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

\*5 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種

\*6 SP-5B00 を除く

\*7 ST-6200 を除く

- \*8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- \*9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、5A の結線図を参照してください。





5B)



MEMO

• 接続機器側は終端抵抗を内蔵していますので、終端抵抗の接続は不要です。



MEMO

• 接続機器側は終端抵抗を内蔵していますので、終端抵抗の接続は不要です。

5D)



GP-Pro EX 機器接続マニュアル



• 接続機器側は終端抵抗を内蔵していますので、終端抵抗の接続は不要です。

\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	OFF





5G)





• 接続機器側は終端抵抗を内蔵していますので、終端抵抗の接続は不要です。

### 結線図 6

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考	
GP3000 <sup>*1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 <sup>*2</sup> (COM2) LT3000 (COM1) IPC <sup>*3</sup>	6A	<ul> <li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル</li> </ul>		
	6B 6C	<ul> <li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li></ul>	- クークル <sub>長は取入</sub> 1200m にしてくださ い。	
	6D	<ul> <li>(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01         <ul> <li>(株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li></ul></li></ul>		
GP3000 <sup>*4</sup> (COM2)	6E	<ul> <li>(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01</li></ul>	ケーブル長は最大 1200m にしてくださ い。	
	6F	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル		
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	6G	自作ケーブル	ケーブル長は最大 1200m にしてくださ い。	
GP4000 <sup>*5</sup> (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 <sup>*6</sup> (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 <sup>*7</sup> (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 <sup>*8</sup> (COM2)	6Н	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 <sup>9</sup> + 自作ケーブル		
	61	(株)デジタル製 マルチリンクケーブル PFXZCBCBML1 <sup>*10</sup> + 自作ケーブル	ケーブル長は最大   1200m にしてくださ い。	
PS6000 ( ベーシック ボックス ) (COM1/2)	6C	自作ケーブル		

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B <sup>*11</sup> PS5000 <sup>*11</sup> PS6000 (オプション インターフェイス) <sup>*11</sup>	6J	自作ケーブル	ケーブル長は最大 1200m にしてくださ い。

- \*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- \*3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

<sup>(37)</sup> ■ IPC の COM ポートについて (10 ページ)

- \*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*5 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種
- \*6 SP-5B00 を除く
- \*7 ST-6200 を除く
- \*8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- \*9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、6A の結線図を参照してください。
- \*10 マルチリンクケーブルの代わりにマルチリンクケーブル (CA3-CBLMLT-01) を使用する場合、6B の 結線図を参照してください。
- \*11 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 <sup>CP</sup> ■ IPC の COM ポートについて (10 ページ)



6B)





6D)





6F)





\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	ON
2	OFF
3	ON
4	OFF

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ1から4をすべて OFF してください。



自作ケーブル

6I)

6H)





#### 結線図 7

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000 <sup>*1</sup> (COM1) SP5000 <sup>*2</sup> (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC <sup>*3</sup> PC/AT	7A	三菱電機(株)製 RS-232C 接続ケーブル FX-232CAB-1(3m)	
	7B	自作ケーブル	ケーブル長は最大 15m 以内にしてください。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	7C	自作ケーブル	ケーブル長は最大 15m 以内にしてください。

\*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

\*2 SP-5B00 を除く

\*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 <sup>CP</sup> ■ IPC の COM ポートについて (10 ページ)

7A)



7B)



	表示器側 端子台				l	接続機器側 D-sub9ピン(プラグ)		
	信号名	]	シー) /	レド 		ピン	信号名	
表示器	RD(RXD)	◀			3	SD(TXD)		
	SD(TXD)					2	RD(RXD)	
	ER(DTR)					6	DR(DSR)	
	SG(GND)					5	SG(GND)	
	CS(CTS)	<b> </b> ←'		+		4	ER(DTR)	
		-	\	<u>\</u>		シェル	FG	

結線図 8

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
$GP3000^{*1}$ (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST <sup>*2</sup> (COM2) IPC <sup>*3</sup> LT3000 <sup>*4</sup> (COM1)	8A	<ul> <li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長は 500m 以 内にしてください。
	8B	自作ケーブル	
GP3000 <sup>*5</sup> (COM2)	8C	<ul> <li>(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01         <ul> <li>+</li> <li>(株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li></ul></li></ul>	ケーブル長は 500m 以 内にしてください。
	8D	+ 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1)	8E	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以 内にしてください。
GP4000 <sup>*6</sup> (COM2) GP-4201T (COM1)	8F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 <sup>*7</sup> + 自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以 内にしてください。
	8B	自作ケーブル	

\*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

\*2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

- \*3 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ■ IPC の COM ポートについて (10 ページ)
- \*4 LT3201A を除く
- \*5 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*6 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種
- \*7 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、8A の結線図を参照してください。

**MEMO** ・ 結線図 8A、8B、8C、8D のケーブルのシールドは必ず D 種接地してください。

8A)

1:1 接続の場合





8B)

1:1 接続の場合





8C)

1:1 接続の場合





8D)

1:1 接続の場合





8E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

8F)

1:1 接続の場合





# 6 使用可能なデバイスアドレス範囲

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

6.1 MELSEC Q(ハイパフォーマンスモデル、ベーシックモデル)/ MELSEC QnA シリーズ

**レーロ** はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入力リレー	X0000-X1FFF	X0000-X1FF0	[L/H]	<u>***</u> 0]
出カリレー	Y0000-Y1FFF	Y0000-Y1FF0		<u>***</u> 0]
内部リレー	M00000-M32767	M00000-M32752		<u> </u>
特殊リレー	SM0000-SM2047	SM0000-SM2032		÷16)
保持リレー	L00000-L32767	L00000-L32752		÷16)
アナンシェータ	F00000-F32767	F00000-F32752		÷16)
エッジリレー	V00000-V32767	V00000-V32752		÷16)
ステップリレー	S0000-S8191	S0000-S8176		÷16)
リンクリレー	B0000-B7FFF	B0000-B7FF0		<u>***</u> 0]
特殊リンクリレー	SB000 - SB7FF	SB000 - SB7F0		<u>***</u> 0
タイマ(接点)	TS00000-TS23087	—		
タイマ(コイル)	TC00000-TC23087	_		
積算タイマ(接点)	SS00000-SS23087	—		
積算タイマ(コイル)	SC00000-SC23087	_		
カウンタ(接点)	CS00000-CS23087	_		
カウンタ(コイル)	CC00000-CC23087	_		
タイマ(現在値)	_	TN00000-TN23087		
積算タイマ(現在値)	_	SN00000-SN23087		
カウンタ(現在値)	_	CN00000-CN23087		
データレジスタ	_	D00000-D25983		<u>ві</u> т <b>F</b> ]*1
特殊レジスタ	_	SD0000-SD2047		<u>ві</u> т <b>F</b> ]*1
リンクレジスタ	_	W0000-W657F		<u>віt</u> F]*1
特殊リンクレジスタ	_	SW000-SW7FF		<u>ві</u> т <b>F</b> ]*1
ユニットアクセスデバイ ス	_	U000-G00000 - U1FF- G65535		<u>віт</u> F)*1 *2

次のページに続きます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
ファイルレジスタ(通常)	—	R00000-R32767		<u>ві</u> т <b>F</b> ]*1 *3
ファイルレジスタ(連番)	—	ZR000000-ZR1042431		<u>ві</u> т <b>F</b> ]*1*2
ファイルレジスタ (0R ~ 31R) <sup>*4</sup>	_	0R0000-0R32767		
		1R0000-1R32767		<b>──□</b> *1 *2
	_	2R0000-2R32767	<u>[L/H]</u>	
	:	:		Bit
		30R0000-30R32767		
		31R0000-31R26623		

\*1 ビット指定時のアクセス方法は[機器設定]の[ワードアドレス内のその他のビットデータ]の設定 により異なります。

[クリアする]..... 🖽 F]

- [クリアしない]……… ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレ スを読込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻しま す。表示器が接続機器のデータを読込んで返す間に、そのワードアドレスへ ラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合が あります。
- \*2 SLMP と互換性のあるデバイスやインテリジェント機能ユニットのバッファメモリにアクセスでき るデバイスです。アドレスの最初の3桁はインテリジェントモジュールの開始 I/O番号を指定しま す。
- \*3 ファイルレジスタの範囲は使用するメモリカードによって異なります。
- \*4 デバイス名の先頭にブロック No. を設定します。これは GP-PRO/PB Ⅲ for Windows との互換用のデバイス表記です。新規でデバイスを指定する場合は、ファイルレジスタ(連番)の使用を推奨します。

MEMO ・システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

> 参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専 用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「『「表記のルール」

## 6.2 MELSEC Q(ユニバーサルモデル)シリーズ

## **レーブ**はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	CPU ユニ シリアノ 上 5 桁が <sup>2</sup>	ニットの レNo. の 10042 未満	CPU ユ・ シリア/ 上 5 桁が <sup>-</sup>	ニットの レNo. の 10042 以降	32bits	備考
	ビット アドレス	ワード アドレス	ビット アドレス	ワード アドレス		
入力リレー	X0000-X1FFF	X0000-X1FF0	X0000-X1FFF	X0000-X1FF0		· · · · 0
出カリレー	Y0000-Y1FFF	Y0000-Y1FF0	Y0000-Y1FFF	Y0000-Y1FF0		***0]
内部リレー	M00000- M32767	M00000- M32752	M00000- M61439	M00000- M61424		÷16)
特殊リレー	SM0000- SM2047	SM0000- SM2032	SM0000- SM2047	SM0000- SM2032		÷16)
保持リレー	L00000- L32767	L00000- L32752	L00000- L32767	L00000- L32752		÷16)
アナンシェータ	F00000- F32767	F00000- F32752	F00000- F32767	F00000- F32752		÷16)
エッジリレー	V00000- V32767	V00000- V32752	V00000- V32767	V00000- V32752		÷16)
ステップリレー	S0000-S8191	S0000-S8176	S0000-S8191	S0000-S8176		÷16)
リンクリレー	B0000-B7FFF	B0000-B7FF0	B0000-BEFFF	B0000-BEFF0	-	***0]
特殊リンクリレー	SB0000 - SB7FFF	SB0000 - SB7FF0	SB0000 - SB7FFF	SB0000 - SB7FF0	[ <u>[</u> ]]	<u>***</u> 0)
タイマ(接点)	TS00000- TS25023	—	TS00000- TS25471	_		
タイマ(コイル)	TC00000- TC25023	—	TC00000- TC25471	_		
積算タイマ(接点)	SS00000- SS25023	—	SS00000- SS25471	_		
積算タイマ (コイル)	SC00000- SC25023	—	SC00000- SC25471	—		
カウンタ(接点)	CS00000- CS25023	_	CS00000- CS25471	_		
カウンタ(コイル)	CC00000- CC25023	_	CC00000- CC25471	_		
タイマ(現在値)	_	TN00000- TN25023	_	TN00000- TN25471		

次のページに続きます。

デバイス	CPU ユ シリアノ 上 5 桁が <sup>2</sup>	ニットの レNo. の 10042 未満	CPU ユ シリア 上 5 桁が <sup>2</sup>	ニットの レNo. の 10042 以降	32bits	備考
	ビット アドレス	ワード アドレス	ビット アドレス	ワード アドレス		
積算タイマ (現在値)	_	SN00000- SN25023	_	SN00000- SN25471		
カウンタ(現在値)	_	CN00000- CN25023	_	CN00000- CN25471		
データレジスタ / 拡 張データレジスタ <sup>*1</sup>	_	D00000- D28159	_	D0000000- D4910079 *2		<sup>₿ i t</sup> F] *3
特殊レジスタ	_	SD0000- SD2047	_	SD0000- SD2047	Ī	<u>₿it</u> F] *3
リンクレジスタ / 拡 張リンクレジスタ <sup>*4</sup>	_	W0000- W6DFF	_	W000000- W4AEBFF <sup>*2</sup>		<u>₿it</u> F] *3
特殊リンクレジスタ	_	SW0000- SW6DFF	_	SW0000- SW6FFF		<u>₿it</u> F] *3
ユニットアクセスデ バイス	_	U000-G00000 - U1FF- G65535	_	U000-G00000 - U1FF- G65535		<u>₿it</u> F] *3 *5
ファイルレジスタ (通常)	_	R00000- R32767	_	R00000- R32767	[ <u>[</u> ]	віт <b>F</b> *3 *6
ファイルレジスタ (連番)	_	ZR000000- ZR4184063	_	ZR0000000- ZR4849663		<u>₿ i t</u> F] *3 *6
	_	0R00000- 0R32767	_	0R00000- 0R32767		
	_	1R00000- 1R32767	_	1R00000- 1R32767		
ファイルレジスタ (0R ~ 31R) <sup>*7</sup>	_	2R00000- 2R32767	_	2R00000- 2R32767		<u>₿;</u> † <b>F</b> ] *3 *6
	:	:	:	:		
	_	30R00000- 30R32767	_	30R00000- 30R32767		
	_	31R00000- 31R26623	_	31R00000- 31R26623		

\*1 拡張データレジスタはCPUユニットのシリアルNo.の上5桁が"09042"以降の場合のみ使用できます。

\*2 D0065536 以降のアドレスおよび W010000 以降のアドレスを使用するにはシリアルコミュニケー ションユニットが次の要件を満たす必要があります。

シリアル No. の上5 桁が 09043 以降

機能バージョンが B 以降

\*3 ビット指定時のアクセス方法は[機器設定]の[ワードアドレス内のその他のビットデータ]の設定 により異なります。

[クリアする]..... Bit F]

- [クリアしない]......ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレ スを読込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻しま す。表示器が接続機器のデータを読込んで返す間に、そのワードアドレスへ ラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合が あります。
- \*4 拡張リンクレジスタはCPUユニットのシリアルNo.の上5桁が"09042"以降の場合のみ使用できます。
- \*5 SLMP と互換性のあるデバイスやインテリジェント機能ユニットのバッファメモリにアクセスでき るデバイスです。アドレスの最初の3桁はインテリジェントモジュールの開始I/O番号を指定しま す。
- \*6 ファイルレジスタの範囲は使用するメモリカードによって異なります。
- \*7 デバイス名の先頭にブロック No. を設定します。これは GP-PRO/PB Ⅲ for Windows との互換用のデバイス表記です。新規でデバイスを指定する場合は、ファイルレジスタ(連番)の使用を推奨します。

МЕМО	<ul> <li>システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。</li> </ul>
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専 用エリア)」
	<ul> <li>表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。</li> </ul>
	「「表記のルール」

6.3 MELSEC L シリーズ

**レーニン** はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入力リレー	X0000-X1FFF	X0000-X1FF0		<u>***</u> 0]
出カリレー	Y0000-Y1FFF	Y0000-Y1FF0		<u>***</u> 0]
内部リレー	M00000-M61439	M00000-M61424		÷16)
特殊リレー	SM0000-SM2047	SM0000-SM2032		÷16)
保持リレー	L00000-L32767	L00000-L32752		<u>+ 16</u>
アナンシェータ	F00000-F32767	F00000-F32752		<u>+ 16</u>
エッジリレー	V00000-V32767	V00000-V32752		<u>+ 16</u> )
ステップリレー	S0000-S8191	S0000-S8176		<u>+ 16</u>
リンクリレー	B0000-BEFFF	B0000-BEFF0		<u>***</u> 0]
特殊リンクリレー	SB0000 - SB7FFF	SB0000 - SB7FF0		<u>***</u> 0]
タイマ(接点)	TS00000-TS25471	_		
タイマ(コイル)	TC00000-TC25471	_		
積算タイマ(接点)	SS00000-SS25471	_	լե/Hլ	
積算タイマ(コイル)	SC00000-SC25471	_		
カウンタ(接点)	CS00000-CS25471	—		
カウンタ(コイル)	CC00000-CC25471	_		
タイマ(現在値)	_	TN00000-TN25471		
積算タイマ(現在値)	_	SN00000-SN25471		
カウンタ(現在値)	_	CN00000-CN25471		
データレジスタ	_	D000000-D421887		<u>₿;</u> ŧF]*1
特殊レジスタ	_	SD0000-SD2047	<b>*</b>	<sup>₿ i t</sup> F] <sup>*1</sup>
リンクレジスタ	_	W00000-W66FFF		<sup>₿ ; †</sup> F)*1
特殊リンクレジスタ	_	SW0000-SW6FFF		<sup>₿;</sup> †F] <sup>*1</sup>
ユニットアクセスデバイ ス	_	U000-G00000 - U1FF- G65535		<sub>віt</sub> F]*1 *2
ファイルレジスタ(通常)	_	R00000-R32767		<u>віт</u> F]*1 *3

次のページに続きます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
ファイルレジスタ(連番)	_	ZR000000-ZR393215		<u>ві</u> т <b>F</b> ]*1*3
ファイルレジスタ (0R ~ 11R) <sup>*4</sup>	—	0R0000-0R32767		
		1R0000-1R32767	<u>[L/H</u> ]	┌───⊏℩*1 *3
		2R0000-2R32767		
	:	:		Bit
		10R0000-10R32767		
	_	11R0000-11R32767		

\*1 ビット指定時のアクセス方法は[機器設定]の[ワードアドレス内のその他のビットデータ]の設定 により異なります。

[クリアする]..... Bi+F]

- [クリアしない]……… ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレ スを読込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻しま す。表示器が接続機器のデータを読込んで返す間に、そのワードアドレスへ ラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合が あります。
- \*2 SLMP と互換性のあるデバイスやインテリジェント機能ユニットのバッファメモリにアクセスでき るデバイスです。アドレスの最初の3桁はインテリジェントモジュールの開始I/O番号を指定します。
- \*3 ファイルレジスタの範囲は使用するメモリカードによって異なります。
- \*4 デバイス名の先頭にブロック No. を設定します。これは GP-PRO/PB Ⅲ for Windows との互換用のデバイス表記です。新規でデバイスを指定する場合は、ファイルレジスタ(連番)の使用を推奨します。

MEMO ・システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

### 参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専 用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「『「表記のルール」

6.4 MELSEC iQ-R シリーズ

**レーニー** はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入力リレー	X0000 - X1FFF	X0000 - X1FF0		***0
出カリレー	Y0000 - Y1FFF	Y0000 - Y1FF0	-	* * * 0
内部リレー	M00000 - M61439	M00000 - M61424	-	÷16)
特殊リレー	SM0000 - SM2047	SM0000 - SM2032		÷16)
保持リレー	L00000 - L32767	L000000 - L32752		÷16)
アナンシェータ	F00000 - F32767	F00000 - F32752		÷16)
エッジリレー	V00000 - V32767	V00000 - V32752		÷16)
リンクリレー	B0000 - BEFFF	B0000 - BEFF0		<u>***</u> 0]
特殊リンクリレー	SB0000 - SB7FFF	SB0000 - SB7FF0		<u>***</u> 0]
タイマ (接点)	TS00000 - TS32767	_		
タイマ (コイル)	TC00000 - TC32767	-		
積算タイマ(接点)	SS00000 - SS32767	_		
積算タイマ(コイル)	SC00000 - SC32767	_		
カウンタ(接点)	CS00000 - CS32767	_		
カウンタ(コイル)	CC00000 - CC32767	_		
タイマ (現在値)	_	TN00000 - TN32767		
積算タイマ (現在値)	—	SN00000 - SN32767		
カウンタ (現在値)	_	CN00000 - CN32767		
ロングカウンタ (現在 値)	_	L_CN0000000 - L_CN4761215		
データレジスタ	_	D0000000 - D0065535		<u>Bit</u> F <sup>*1</sup>
特殊レジスタ	_	SD0000 - SD2047	Ī	<sub>₿it</sub> F) <sup>*1</sup>
リンクレジスタ	_	W000000 - W00FFFF		$\mathbf{E} + \mathbf{F}^{*1}$
特殊リンクレジスタ	_	SW0000 - SW7FFF		<u>Bit</u> F)*1
ユニットアクセスデバ イス	_	U000-G00000000 - U1FF- G999999999		<sub>■it</sub> F] <sup>*1 *2</sup>
ファイルレジスタ	_	R00000 - R32767	-	<u>ві т</u> F) <sup>*1</sup>
ファイルレジスタ (連番)	_	ZR0000000 - ZR4849663		<sub>[ві т</sub> F] <sup>*1</sup>
	_	0R00000 - 0R32767		<sub>в і т</sub> F) *1
	_	1R00000 - 1R32767		<u>ві</u> т F)*1
ファイルレジスタ	_	2R00000 - 2R32767		<u>ві</u> т <b>F</b> *1
(0R ~ 31R)	:	:		
	_	30R00000 - 30R32767		<u>∎ ; </u> + <b>F</b> ) <sup>*1</sup>
	_	31R00000 - 31R26623		<sub>ві t</sub> F) <sup>*1</sup>

\*1 ビット指定時のアクセス方法は[機器設定]の[ワードアドレス内のその他のビットデータ]の設定 により異なります。

[クリアする]..... Bit F]

[クリアしない]……… ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレ スを読込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻しま す。表示器が接続機器のデータを読込んで返す間に、そのワードアドレスへ ラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合が あります。

\*2 SLMP と互換性のあるデバイスやインテリジェント機能ユニットのバッファメモリにアクセスでき るデバイスです。アドレスの最初の3桁はインテリジェントモジュールの開始I/O番号を指定します。

MEMO ・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「『「表記のルール」

6.5 MELSEC iQ-F シリーズ

**レーニン** はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入力リレー	X0000 - X1777	X0000 - X1760		OCT 8
出カリレー	Y0000 - Y1777	Y0000 - Y1760		OCT 8
内部リレー	M00000 - M32767	M00000 - M32752		÷16)
特殊リレー	SM0000 - SM9999	SM0000 - SM9984		÷16)
保持リレー	L00000 - L32767	L000000 - L32752		÷16)
アナンシェータ	F00000 - F32767	F00000 - F32752		÷16)
ステップリレー	S0000 - S4095	S0000 - S4080		÷16)
リンクリレー	B0000 - B7FFF	B0000 - B7FF0		<u>***</u> 0]
特殊リンクリレー	SB0000 - SB7FFF	SB0000 - SB7FF0		<u>***</u> 0]
タイマ(接点)	TS0000 - TS1023	_		
タイマ (コイル)	TC0000 - TC1023	_		
積算タイマ(接点)	SS0000 - SS1023	-		
積算タイマ(コイル)	SC0000 - SC1023	_		
カウンタ(接点)	CS0000 - CS1023	_		
カウンタ(コイル)	CC0000 - CC1023	-		
ロングカウンタ(接点 ) <sup>*1</sup>	L_CS0000 - L_CS1023	_		
ロングカウンタ(コイ ル) <sup>*1</sup>	L_CC0000 - L_CC1023	_		
タイマ (現在値)	_	TN0000 - TN1023		
積算タイマ (現在値)	_	SN0000 - SN1023		
カウンタ(現在値)	_	CN0000 - CN1023		
ロングカウンタ ( 現在 値 ) <sup>*1</sup>	_	L_CN0000 - L_CN1023		<b>B</b> i t <b>F</b> ] <sup>*2 *3</sup>
データレジスタ	_	D0000 - D7999		<u>віт</u> F)*3
特殊レジスタ	_	SD00000 - SD11999	Ţ	<sub>■it</sub> F)*3
リンクレジスタ	_	W0000 - W7FFF		<b>B</b> i t <b>F</b> *3
特殊リンクレジスタ	_	SW0000 - SW7FFF	1	<u>Bit</u> F)*3
ユニットアクセスデバ イス	_	U000-G00000 - U1FF- G65535		<b>B</b> i t <b>F</b> ] <sup>*2*3</sup>
ファイルレジスタ	_	R00000 - R32767	1	$\mathbb{E}_{i,t} \mathbb{F}_{1}^{*3}$

\*1 本デバイスは形式が「QnA 互換 4C フレーム:形式 5」の場合のみ使用できます。

\*2 SLMP と互換性のあるデバイスやインテリジェント機能ユニットのバッファメモリにアクセスでき るデバイスです。アドレスの最初の3桁はインテリジェントモジュールの開始I/O番号を指定します。 \*3 ビット指定時のアクセス方法は[機器設定]の[ワードアドレス内のその他のビットデータ]の設定 により異なります。

[クリアする]..... Bit F]

- [クリアしない]……… ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレ スを読込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻しま す。表示器が接続機器のデータを読込んで返す間に、そのワードアドレスへ ラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合が あります。
  - MEMO ・システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。
    - 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」
    - 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

<sup>②予</sup>「表記のルール」
# 7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

### 7.1 MELSEC Q/QnA シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入力リレー	X	0080	ワードアドレス ÷0x10 の値
出カリレー	Y	0081	ワードアドレス ÷0x10 の値
内部リレー	М	0082	ワードアドレス÷16の値
特殊リレー	SM	0083	ワードアドレス÷16の値
保持リレー	L	0084	ワードアドレス÷16の値
アナンシェータ	F	0085	ワードアドレス÷16の値
エッジリレー	V	0086	ワードアドレス÷16の値
ステップリレー	S	0087	ワードアドレス÷16の値
リンクリレー	В	0088	ワードアドレス ÷0x10 の値
特殊リンクリレー	SB	0089	ワードアドレス ÷0x10 の値
タイマ(現在値)	TN	0060	ワードアドレス
積算タイマ(現在値)	SN	0062	ワードアドレス
カウンタ(現在値)	CN	0061	ワードアドレス
データレジスタ / 拡張データレ ジスタ	D	0000	ワードアドレス
特殊レジスタ	SD	0001	ワードアドレス
リンクレジスタ / 拡張リンクレ ジスタ	W	0002	ワードアドレス
特殊リンクレジスタ	SW	0003	ワードアドレス
ユニットアクセスデバイス	U000-G $\sim$ U1FF-G	$0076 \sim 1 \mathrm{F76}$	ワードアドレス <sup>*1</sup>
ファイルレジスタ(通常)	R	000F	ワードアドレス
ファイルレジスタ(連番)	ZR	000E	ワードアドレス
ファイルレジスタ (0R ~ 31R)	0R	0010	ワードアドレス
	1R	0011	ワードアドレス
	2R	0012	ワードアドレス
	:	:	:
	30R	002E	ワードアドレス
	31R	002F	ワードアドレス

\*1 デバイス名のコードはデバイスコードとアドレス部の28~31ビットめの値で指定されます。たと えばU1FF-Gの場合、デバイスコードを「0x1F76」、アドレス部の28~31ビットめを「F」に設定します。

#### 7.2 MELSECLシリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入力リレー	Х	0080	ワードアドレス ÷0x10 の値
出カリレー	Y	0081	ワードアドレス ÷0x10 の値
内部リレー	М	0082	ワードアドレス÷16の値
特殊リレー	SM	0083	ワードアドレス÷16の値
保持リレー	L	0084	ワードアドレス÷16の値
アナンシェータ	F	0085	ワードアドレス÷16の値
エッジリレー	V	0086	ワードアドレス÷16の値
ステップリレー	S	0087	ワードアドレス÷16の値
リンクリレー	В	0088	ワードアドレス ÷0x10 の値
特殊リンクリレー	SB	0089	ワードアドレス ÷0x10 の値
タイマ(現在値)	TN	0060	ワードアドレス
積算タイマ(現在値)	SN	0062	ワードアドレス
カウンタ(現在値)	CN	0061	ワードアドレス
データレジスタ	D	0000	ワードアドレス
特殊レジスタ	SD	0001	ワードアドレス
リンクレジスタ	W	0002	ワードアドレス
特殊リンクレジスタ	SW	0003	ワードアドレス
ユニットアクセスデバイス	U000-G $\sim$ U1FF-G	$0076 \sim 1 \mathrm{F76}$	ワードアドレス <sup>*1</sup>
ファイルレジスタ(通常)	R	000F	ワードアドレス
ファイルレジスタ(連番)	ZR	000E	ワードアドレス
	0R	0010	ワードアドレス
ファイルレジスタ (0R ~ 11R)	1R	0011	ワードアドレス
	2R	0012	ワードアドレス
	:	:	:
	10R	001A	ワードアドレス
	11R	001B	ワードアドレス

\*1 デバイス名のコードはデバイスコードとアドレス部の28~31ビットめの値で指定されます。たと えばU1FF-Gの場合、デバイスコードを「0x1F76」、アドレス部の28~31ビットめを「F」に設定します。 7.3 MELSEC iQ-R シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
	Х	0080	
	1/X	0180	
入力リレー	2/X	0280	ワードアドレス ÷0x10 の値
	3/X	0380	
	4/X	0480	
	Y	0081	
	1/Y	0181	
出カリレー	2/Y	0281	ワードアドレス ÷0x10 の値
	3/Y	0381	
	4/Y	0481	
	М	0082	
	1/M	0182	
内部リレー	2/M	0282	ワードアドレス ÷16 の値
	3/M	0382	
	4/M	0482	
	SM	0083	
	1/SM	0183	
特殊リレー	2/SM	0283	ワードアドレス ÷16 の値
	3/SM	0383	
	4/SM	0483	
	L	0084	
	1/L	0184	
保持リレー	2/L	0284	ワードアドレス ÷16 の値
	3/L	0384	
	4/L	0484	
	F	0085	
アナンシェータ	1/F	0185	
	2/F	0285	ワードアドレス ÷16 の値
	3/F	0385	
	4/F	0485	1

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
	V	0086	
	1/V	0186	
エッジリレー	2/V	0286	ワードアドレス ÷16 の値
	3/V	0386	
	4/V	0486	
	В	0088	
	1/B	0188	
リンクリレー	2/B	0288	ワードアドレス ÷0x10 の値
	3/B	0388	
	4/B	0488	
	SB	0089	
	1/SB	0189	
特殊リンクリレー	2/SB	0289	ワードアドレス ÷0x10 の値
	3/SB	0389	
	4/SB	0489	
	TN	0060	
タイマ(現在値)	1/TN	0160	
	2/TN	0260	ワードアドレス
	3/TN	0360	
	4/TN	0460	
	SN	0062	
	1/SN	0162	
積算タイマ(現在値)	2/SN	0262	ワードアドレス
	3/SN	0362	
	4/SN	0462	
	CN	0061	
	1/CN	0161	
カウンタ(現在値)	2/CN	0261	ワードアドレス
	3/CN	0361	
	4/CN	0461	
	L_CN	0x0065	
ロングカウンタ(現在値)	1/L_CN	0x0165	
	2/L_CN	0x0265	ワードアドレス
	3/L_CN	0x0365	
	4/L_CN	0x0465	

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
	D	0000	
	1/D	0100	
データレジスタ	2/D	0200	ワードアドレス
	3/D	0300	
	4/D	0400	
	SD	0001	
	1/SD	0101	
特殊レジスタ	2/SD	0201	ワードアドレス
	3/SD	0301	
	4/SD	0401	
	W	0002	
	1/W	0102	
リンクレジスタ	2/W	0202	ワードアドレス
	3/W	0302	
	4/W	0402	
特殊リンクレジスタ	SW	0003	
	1/SW	0103	
	2/SW	0203	ワードアドレス
	3/SW	0303	
	4/SW	0403	
ユニットアクセスデバイス	U000-G $\sim$ U1FF-G	$0076 \sim 1 \mathrm{F76}$	ワードアドレス*1
	R	000F	
	1/R	010F	
ファイルレジスタ	2/R	020F	ワードアドレス
	3/R	030F	
	4/R	040F	
	ZR	000E	
ファイルレジスタ(連番)	1/ZR	010E	
	2/ZR	020E	ワードアドレス
	3/ZR	030E	
	4/ZR	040E	

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
ファイルレジスタ (0R ~ 31R)	0R	0010	
	1/0R	0110	
	2/0R	0210	ワードアドレス
	3/0R	0310	
	4/0R	0410	
	1R	0011	
	1/1R	0111	
	2/1R	0211	ワードアドレス
	3/1R	0311	
	4/1R	0411	

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
	2R	0012	
	1/2R	0112	
	2/2R	0212	ワードアドレス
	3/2R	0312	
	4/2R	0412	
	3R	0013	
	1/3R	0113	
	2/3R	0213	ワードアドレス
	3/3R	0313	
	4/3R	0413	
	4R	0014	
	1/4R	0114	
	2/4R	0214	ワードアドレス
	3/4R	0314	
	4/4R	0414	
ファイルレジスタ (0R ~ 31R)	:	:	
	27R	002B	
	1/27R	012B	
	2/27R	022B	ワードアドレス
	3/27R	032B	
	4/27R	042B	
	28R	002C	
	1/28R	012C	
	2/28R	022C	ワードアドレス
	3/28R	032C	
	4/28R	042C	
	29R	002D	
	1/29R	012D	
	2/29R	022D	ワードアドレス
	3/29R	032D	
	4/29R	042D	

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
ファイルレジスタ (0R ~ 31R)	30R	002E	
	1/30R	012E	
	2/30R	022E	ワードアドレス
	3/30R	032E	
	4/30R	042E	
	31R	002F	
	1/31R	012F	
	2/31R	022F	ワードアドレス
	3/31R	032F	
	4/31R	042F	

\*1 デバイス名のコードはデバイスコードとアドレス部の 28 ~ 31 ビットめの値で指定されます。たと えば U1FF-G の場合、デバイスコードを「0x1F76」、アドレス部の 28 ~ 31 ビットめを「F」に設定 します。 7.4 MELSEC iQ-F シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入力リレー	Х	0080	ワードアドレス ÷0x10 の値
出カリレー	Y	0081	ワードアドレス ÷0x10 の値
内部リレー	М	0082	ワードアドレス÷16の値
特殊リレー	SM	0083	ワードアドレス÷16の値
保持リレー	L	0084	ワードアドレス÷16の値
アナンシェータ	F	0085	ワードアドレス÷16の値
ステップリレー	S	0087	ワードアドレス ÷16 の値
リンクリレー	В	0088	ワードアドレス ÷0x10 の値
特殊リンクリレー	SB	0089	ワードアドレス ÷0x10 の値
タイマ (現在値)	TN	0060	ワードアドレス
積算タイマ(現在値)	SN	0062	ワードアドレス
カウンタ(現在値)	CN	0061	ワードアドレス
ロングカウンタ(接点)	L_CS	0x00EA	ワードアドレス
ロングカウンタ(コイル)	L_CC	0x00EB	ワードアドレス
ロングカウンタ(現在値)	L_CN	0x0065	ワードアドレス
データレジスタ	D	0000	ワードアドレス
特殊レジスタ	SD	0001	ワードアドレス
リンクレジスタ	W	0002	ワードアドレス
特殊リンクレジスタ	SW	0003	ワードアドレス
ユニットアクセスデバイス	$U000-G \sim U1FF-G$	$0076 \sim 1F76$	ワードアドレス*1
ファイルレジスタ	R	000F	ワードアドレス

\*1 デバイス名のコードはデバイスコードとアドレス部の 28 ~ 31 ビットめの値で指定されます。たと えば U1FF-G の場合、デバイスコードを「0x1F76」、アドレス部の 28 ~ 31 ビットめを「F」に設定 します。

## 8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のように表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC1])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。 MEMO
エラー発生箇所	<ul> <li>IP アドレスは「IP アドレス (10 進数):MAC アドレス (16 進数)」のように表示 されます。</li> <li>デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。</li> <li>受信エラーコードは「10 進数 [16 進数]」のように表示されます。</li> </ul>

エラーメッセージの表示例

#### 「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました(受信エラーコード: 2[02H])」

MEMO	<ul> <li>受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「表</li> </ul>
	示器で表示されるエラー」を参照してください。